

利根川水系

小山川ブロック河川整備計画（附図）

（県管理区間）

平成18年3月

埼玉県

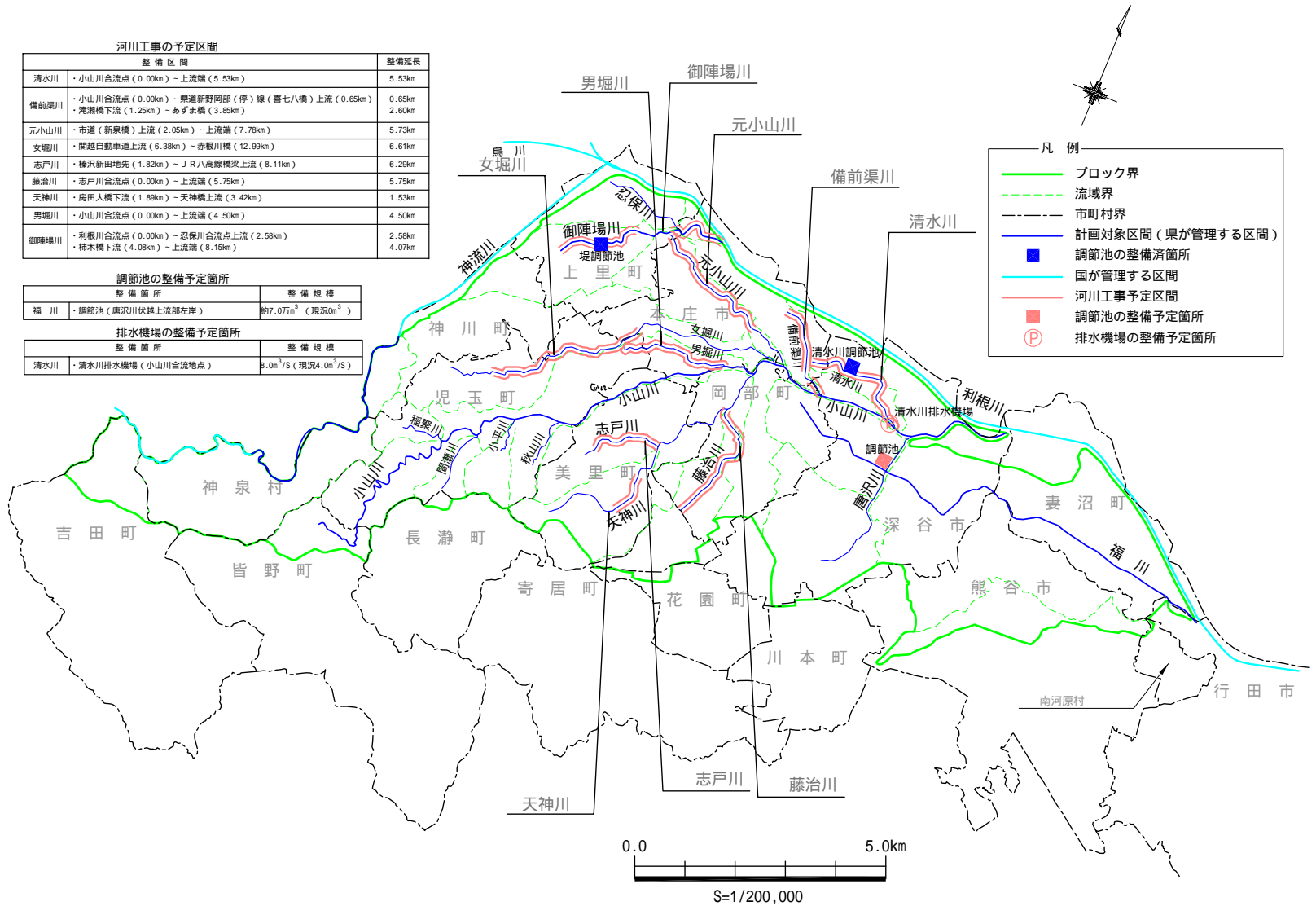
目 次

小山川ブロックの河川工事予定区間概略図	-----	附図 - 1
福 川	-----	附図 - 2
清水川	-----	附図 - 6
備前渠川	-----	附図 - 10
元小山川	-----	附図 - 14
女堀川	-----	附図 - 18
志戸川	-----	附図 - 22
藤治川	-----	附図 - 26
天神川	-----	附図 - 30
男堀川	-----	附図 - 34
御陣場川	-----	附図 - 38

整備区間	整備延長
清水川 ・小山川合流点(0.00km)～上流端(5.53km)	5.53km
備前渠川 ・小山川合流点(0.00km)～県道新野岡部(停)線(喜七八橋)上流(0.65km) ・滝瀬橋下流(1.25km)～あずま橋(3.85km)	0.65km 2.60km
元小山川 ・市道(新泉橋)上流(2.05km)～上流端(7.78km)	5.73km
女堀川 ・閑越自動車道(6.38km)～赤根川橋(12.99km)	6.61km
志戸川 ・橋沢新田地先(1.82km)～J R八高線橋梁上流(8.11km)	6.29km
藤治川 ・志戸川合流点(0.00km)～上流端(5.75km)	5.75km
天神川 ・房田大橋下流(1.89km)～天神橋上流(3.42km)	1.53km
男堀川 ・小山川合流点(0.00km)～上流端(4.50km)	4.50km
御陣場川 ・利根川合流点(0.00km)～忍保川合流点上流(2.58km) ・柿木橋下流(4.08km)～上流端(8.15km)	2.58km 4.07km

整備箇所	整備規模
福川 ・調節池(唐沢川伏越上流部左岸)	約7.0万 m^3 (現況0 m^3)

整備箇所	整備規模
清水川 ・清水川排水機場(小山川合流地点)	8.0 m^3 /S(現況4.0 m^3 /S)



小山川ブロックの河川工事予定区間概略図

福川

ふく

流域面積 76.79km²

流路延長 20.77 km

合流河川 利根川

河床勾配 1/800 ~ 1/3,000

関係市町村 熊谷市、行田市、深谷市、妻沼町、岡部町

流域及び河川の概要

福川は、大里郡岡部町岡地先を上流端とし、途中唐沢川を伏せ越し、深谷市、熊谷市、妻沼町、行田市を経て利根大堰上流約 3.0km において利根川の右岸に合流している一級河川である。

流域内の土地利用は、下流域では水田が多くを占めるが、上流域である深谷市や岡部町では宅地等が進展している。

河川整備の概要

上流域の深谷市や岡部町の宅地化の進展等による河川への流出増加に対応するため、下流への洪水流量の低減を目的として調節池を整備する。

- ・ 調節池の整備 (約 7.0 万 m³): 唐沢川伏越上流部左岸

整備上の留意点

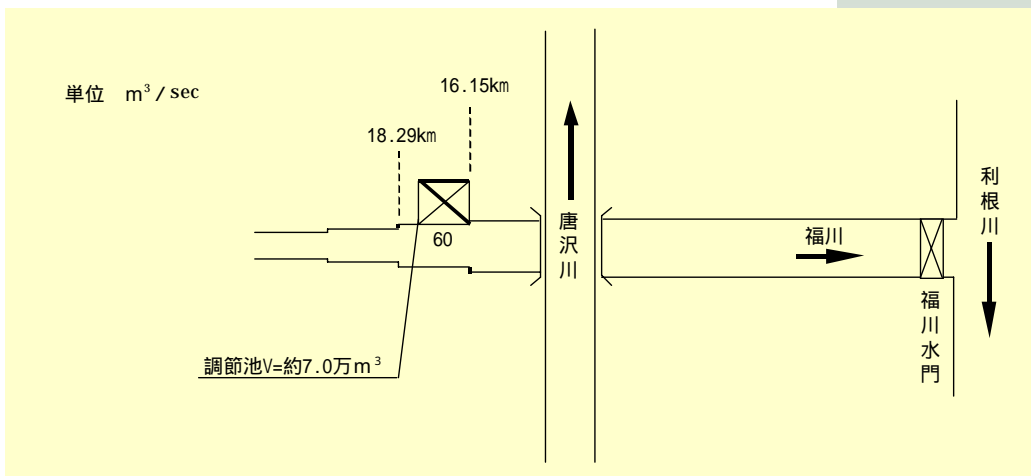
調節池は、平常時の空間を利用して地域住民のニーズや環境に対応したオープンスペースの創出に努める。

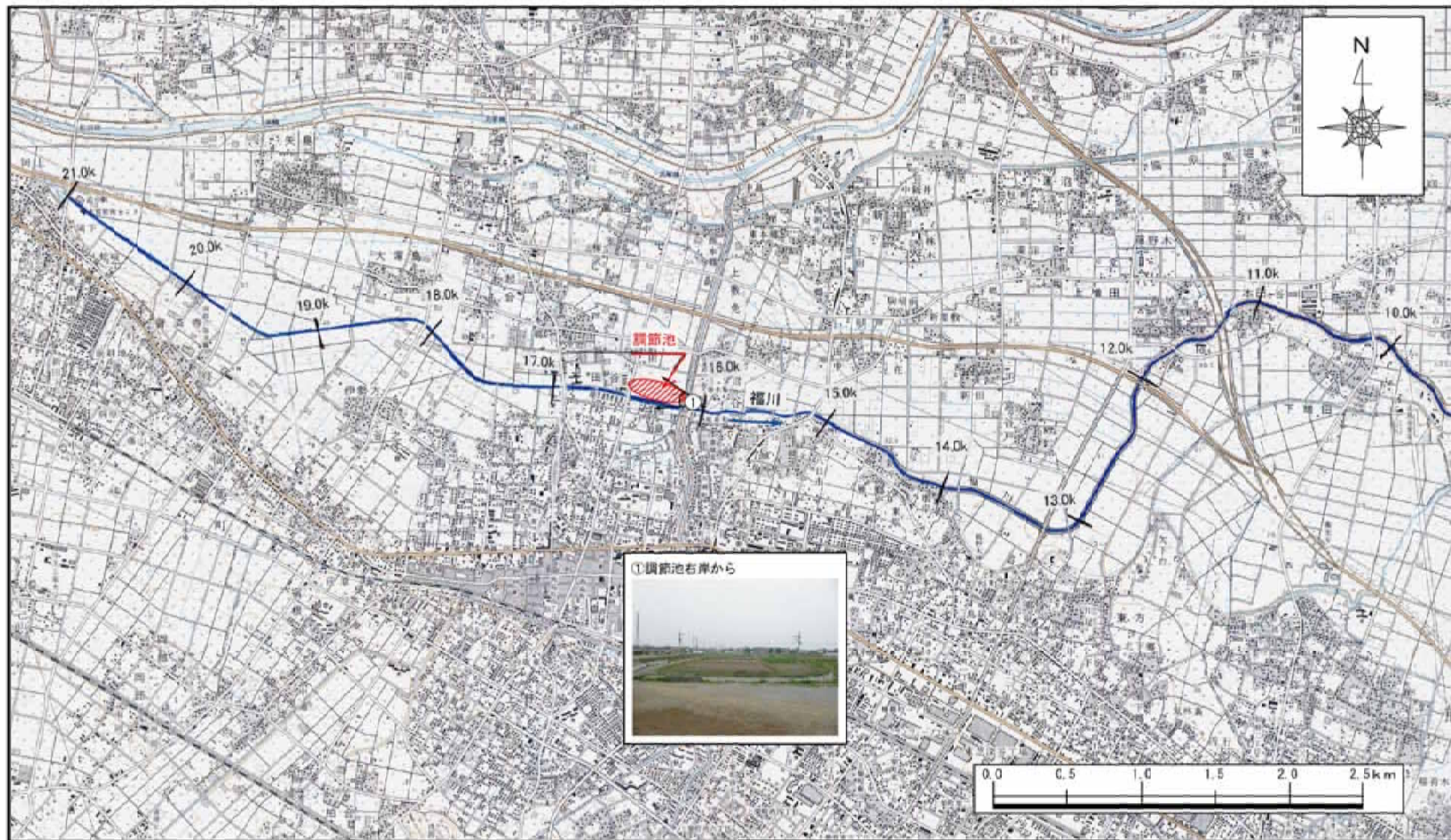
整備にあたっては、現地や周辺の動植物の生息環境に配慮し、極力それを保全するために、覆土に現地表土を利用するなどに努める。

福川流域図

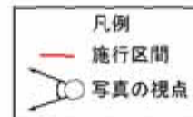


流量配分図

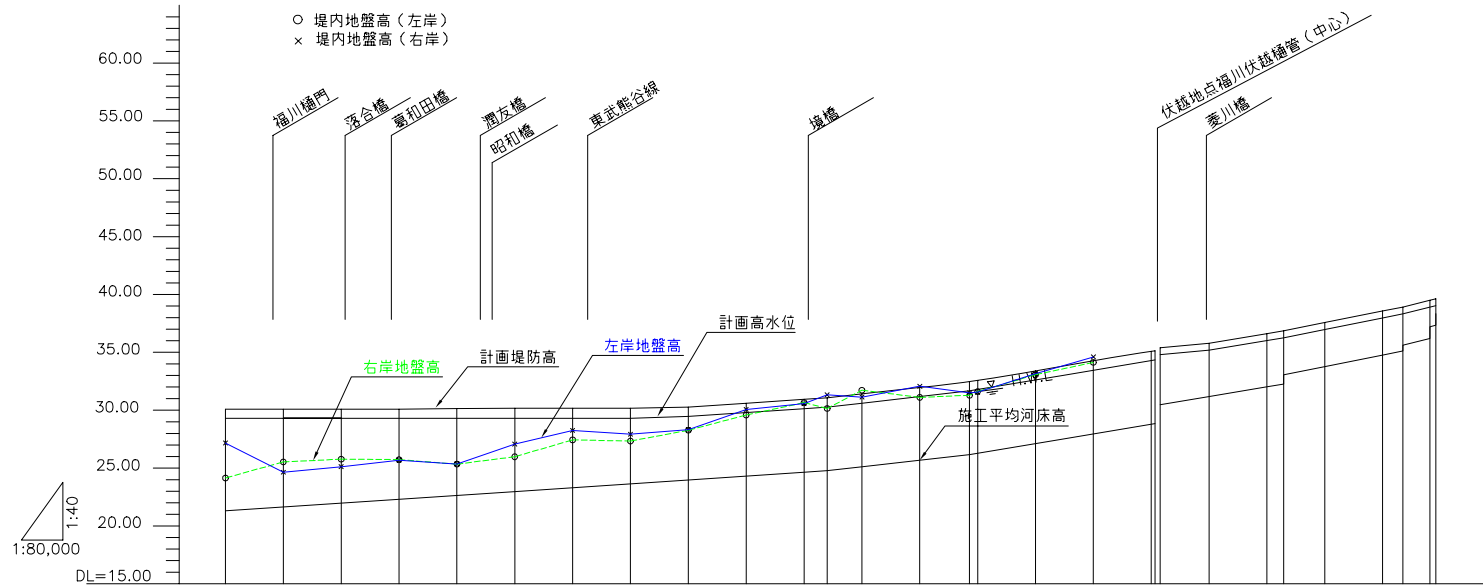




福川整備計画平面図 S=1/25,000



福川整備計画縦断面図 $V=1:40$
 $H=1:80,000$



計	断面	河床勾配																													
		1/3000	1/1750	1/1200	1/1200	1/1000 1/800																									
追加距離		0.8k	1.0k	2.0k	3.0k	4.0k	5.0k	6.0k	7.0k	8.0k	9.0k	10.0k	10.4k	11.0k	12.0k	12.9k	13.0k	14.0k	15.0k	16.1k	16.2k	17.0k	18.0k	18.3k	19.0k	20.0k	20.4k	20.8k	20.9k		
河床高		21.57	21.63	21.97	22.30	22.62	22.97	23.30	23.62	23.95	24.30	24.63	24.77	25.11	25.68	26.17	26.28	27.12	27.95	30.84	30.82	31.18	31.18	32.02	32.26	33.77	34.77	35.12	36.21	37.33	
高水位		29.29	29.29	29.29	29.29	29.29	29.29	29.29	29.29	29.45	29.80	30.13	30.27	30.61	31.18	31.67	31.78	32.62	33.45	34.34	34.30	35.18	35.18	36.02	36.26	36.97	37.57	38.57	38.32	39.51	39.63
堤防高		30.09	30.09	30.09	30.10	30.15	30.18	30.18	30.18	30.25	30.60	30.93	31.07	31.41	31.98	32.47	32.56	33.42	34.25	35.14	35.40	35.78	35.78	36.62	36.86	37.57	38.57	38.92	39.51	39.63	

清水川

しみず

流域面積	6.42km ²
流路延長	5.53km
合流河川	小山川
河床勾配	1/500～1/1,500
関係市町村	本庄市、深谷市、群馬県境町

流域及び河川の概要

清水川は、本庄市牧西地先を上流端とし、深谷市内を流下しながら、主要地方道伊勢崎深谷線、主要地方道本庄妻沼線を横断し、小山川の左岸に合流している一級河川である。

流域内は、利根川の沖積地帯が大部分を占め、その肥沃な土壌により、古くから一大農業地帯となっている。また、上流域では、河川沿いに公園が整備されている。

河川整備の概要

清水川の下流域では、小山川への自然排水樋管によって洪水の流下が著しく阻害されており、越水等により平成11年8月熱帯低気圧の影響による浸水被害を始めとして度々浸水被害が発生していることから、樋管の改築を行うとともに、一連区間の河床掘削等を行う。また、現況の排水機場は、設置から相当の年数が経っていることや排水能力が小さいことから、改築を行う。

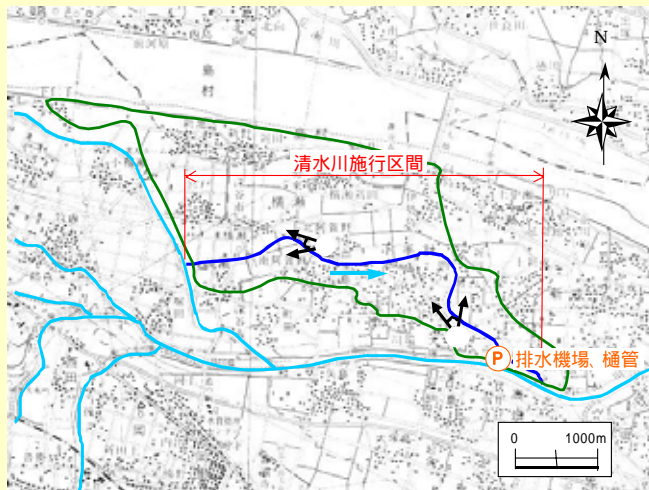
- ・ 樋管の改築（40 m³/s）：小山川合流点付近
- ・ 河道拡幅、築堤、河床掘削：小山川合流点～上流端（L=5.53km）
- ・ 排水機場の改築（8m³/s）：小山川合流点付近

整備上の留意点

河道拡幅などの整備にあたっては、現地や周辺の動植物の生息環境に配慮し、極力それを保全するために、覆土に現地表土を利用するなどに努める。

水際は、川の特性を踏まえ、石や木、植生などの自然素材を利用し、低水路の蛇行、淵の創出などに努め、多様な生物の生息環境確保に努める。

清水川流域図

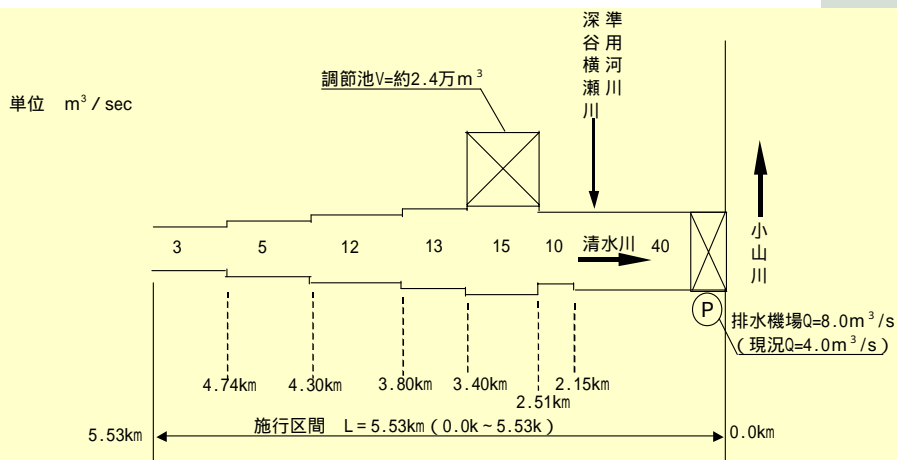


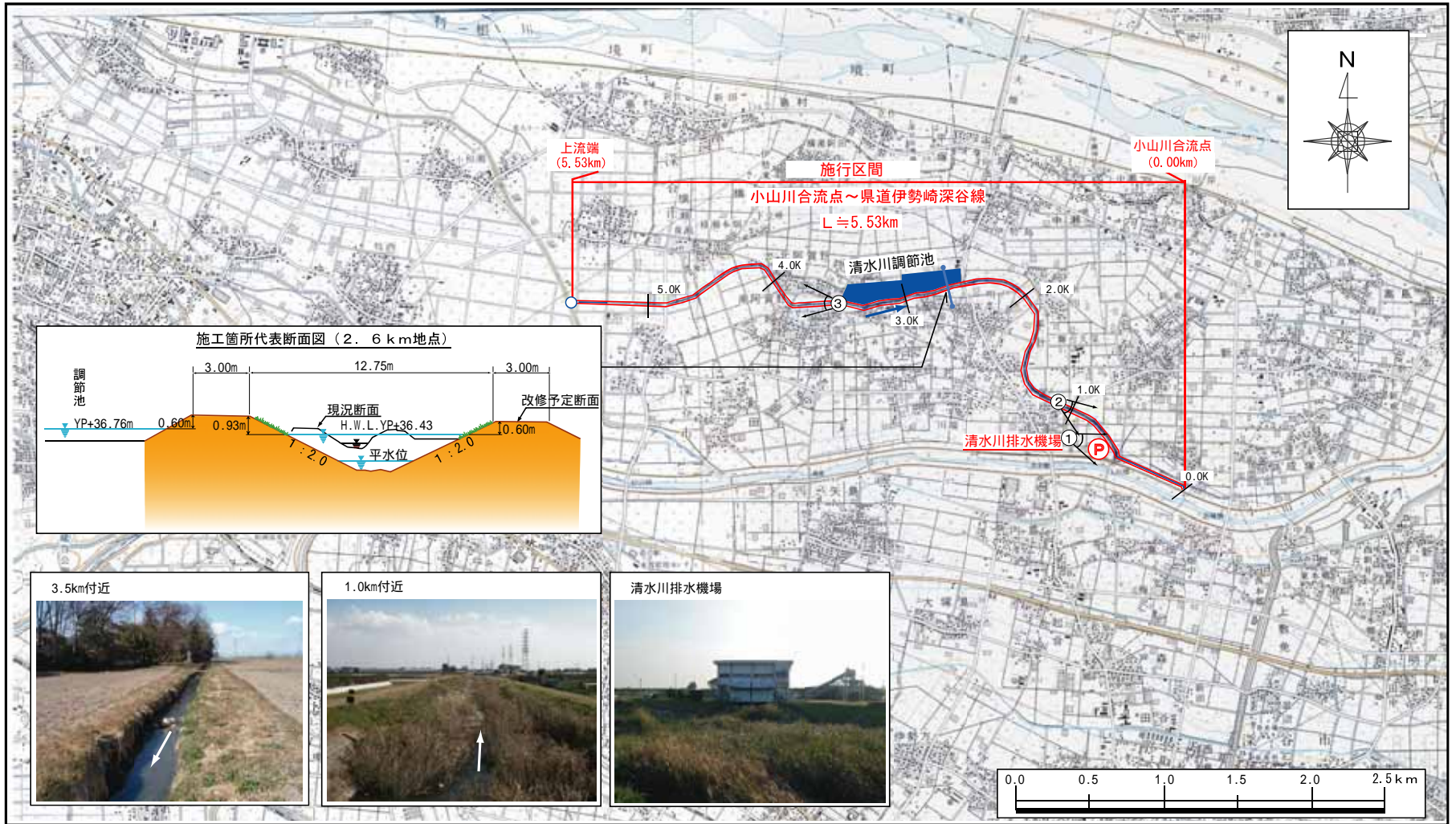
1.0km 付近



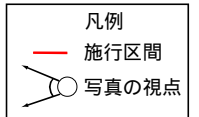
4.0km 付近

流量配分図

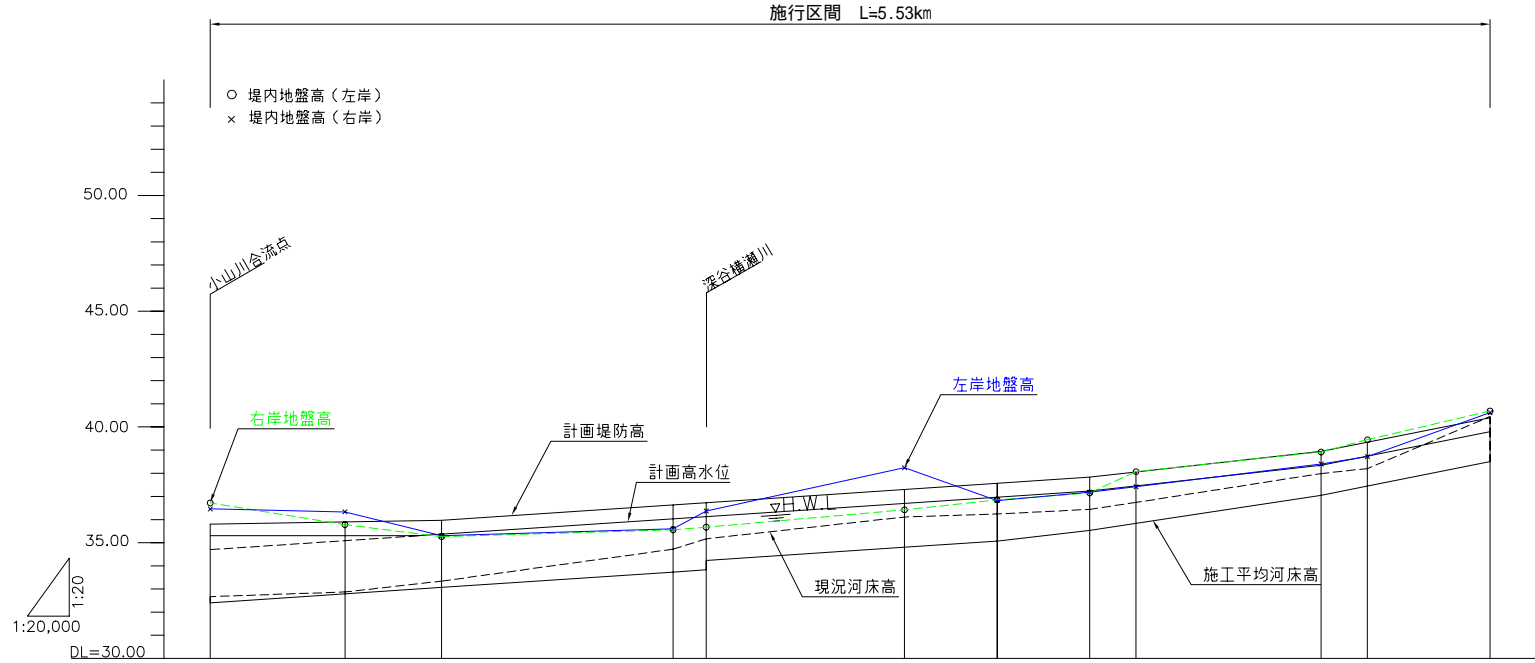




清水川整備計画平面図 S=1/25,000



清水川整備計画縦断面図 V=1:20
H=1:20,000



距離 (km)	計画			
	河床高	高水位	堤防高	河床配
0				1/1500
0.6k	32.79	35.10	35.90	1/900
1.0k	33.07	35.37	35.97	
2.0k	33.73	36.03	36.63	1/500
2.1k	33.83 34.23	36.13	36.73	
3.0k	34.80	36.70	37.30	
3.4k	35.07	36.97	37.57	
3.8k	35.53	37.23	37.83	
4.0k	35.84	37.46	38.06	
4.8k	37.04	38.34	38.94	
5.0k	37.44	38.74	39.34	
5.5k	38.50	39.80	40.40	

備前渠川

びぜんきよ

流域面積	8.36km ²
流路延長	3.85km
合流河川	小山川
河床勾配	1/1,000 ~ 1/1,300
関係市町村	本庄市、深谷市、岡部町

流域及び河川の概要

備前渠川は本庄市仁手地先を上流端として、小山川の左岸に合流している一級河川であるが、もともと備前渠用水路として開削された農業用水路で、現在も年間を通して利根川から取水した用水を小山川へ注水している。

流域内のほとんどは農地及び農村集落地で構成されている。

河川整備の概要

小山川合流点から県道新野岡部（停）線（喜七八橋）上流の区間においては、無堤区間があるため、小山川の堤防と同等規模の連続堤防とする。

- ・ 河道拡幅、築堤、河床掘削：小山川合流点～県道新野岡部（停）線（喜七八橋）上流（L = 0.65km）
：滝瀬橋下流～あずま橋（L = 2.60 km）

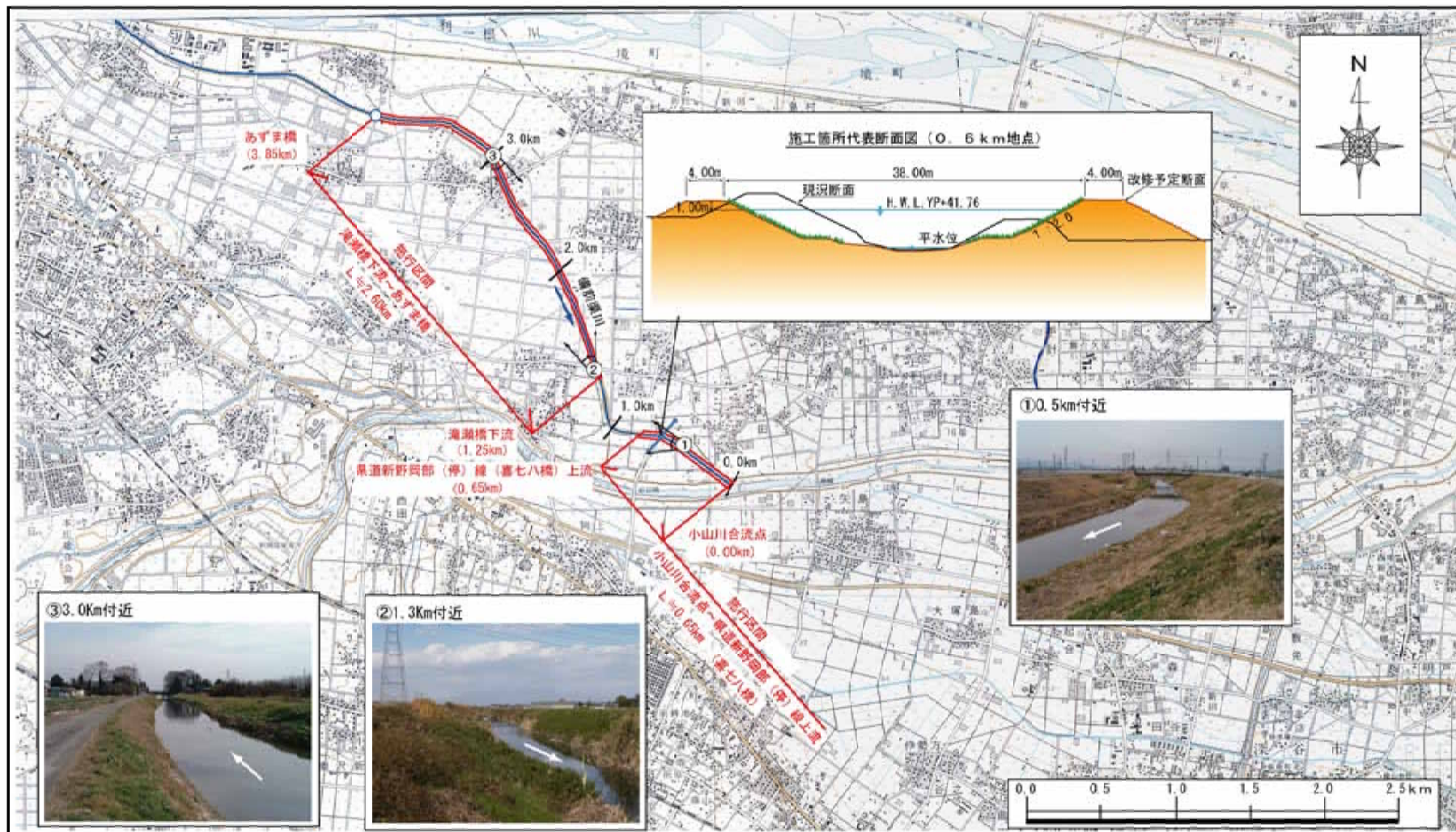
整備上の留意点

築堤にあたっては、内水被害が助長させないよう関係機関と連携を図りながら実施する。

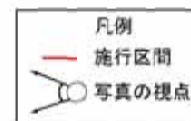
築堤、河道拡幅などの整備にあたっては、現地や周辺の動植物の生息環境に配慮し、極力それを保全するために、覆土に現地表土を利用するなどに努める。

水際は、川の特性を踏まえて可能な限り、低水路の蛇行、淵の創出などに努め、凸凹のある護岸整備を行い、多様な生物の生息環境確保に努める。

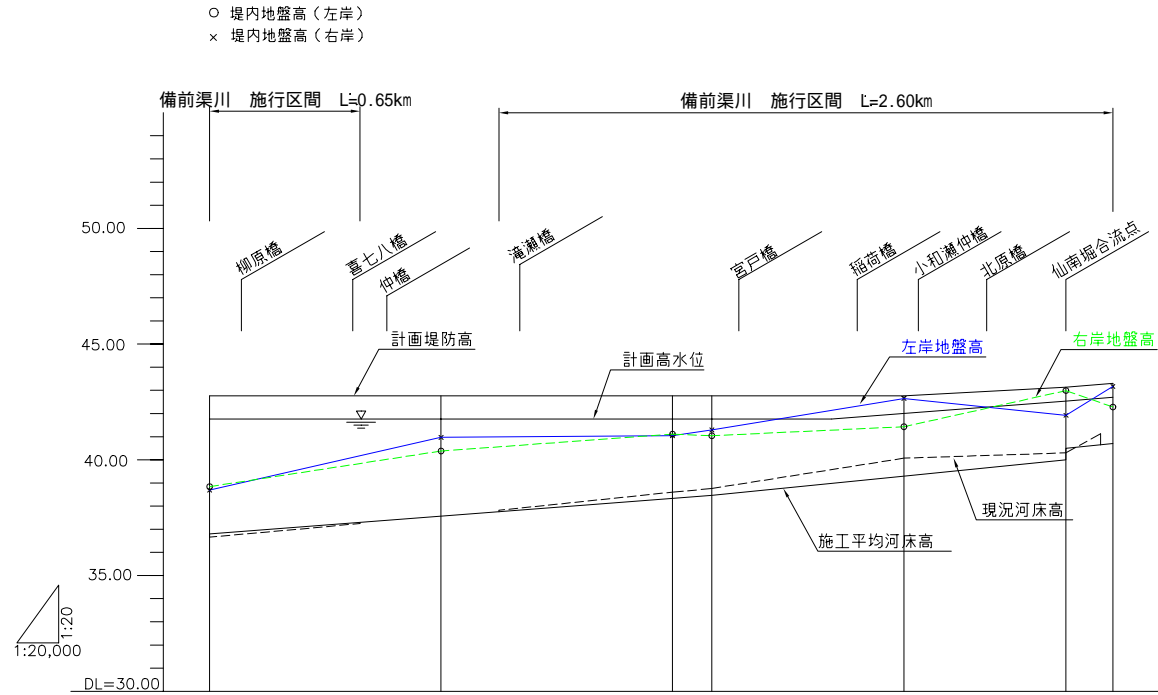
なお、用水路としての機能も併せ持つことから、水位の設定、維持等十分な考慮が必要である。



備前渠川整備計画平面図 S=1/25,000



備前渠川整備計画縦断面図 $V=1:20$
 $H=1:20,000$



計画	断面	河床高		堤防高		高水位		河床高		加高量	
		左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸	左岸	右岸
		1/1300									
		0	36.80	41.76	42.76	41.76	41.76	37.56	41.76	42.76	42.76
		1.0k	37.56	41.76	42.76	41.76	41.76	41.76	41.76	42.76	42.76
		2.0k	38.33	41.76	42.76	41.76	41.76	41.76	41.76	42.76	42.76
		2.2k	38.46	41.76	42.76	41.76	41.76	41.76	41.76	42.76	42.76
		3.0k	38.29	42.00	42.76	42.00	42.00	39.29	42.54	43.14	43.30
		3.7k	39.99	42.54	43.14	42.54	42.54	40.49	42.70	43.30	43.30
		3.9k	40.70	42.70	43.30	42.70	42.70	40.70	42.70	43.30	43.30

元小山川

もとこやま

流域面積	12.36km ²
流路延長	7.78km
合流河川	小山川
河床勾配	1/500～1/1,500
関係市町村	本庄市、上里町、岡部町

流域及び河川の概要

元小山川は、児玉郡上里町石神地先を上流端として、本庄市内の市街地を流下し、国道17号線を2度横断し、小山川の左岸に合流している一級河川である。

昭和37年度より中流部から上流部に向かって暫定的な整備を進めていたが、合流先河川である小山川の改修が完了したことに伴い、下流から河道の整備を進めている。

流域内のほとんどが、本庄市の市街地であるため、生活雑排水により水質が悪化している区間がある。

市街地を流下していることから、貴重なオープンスペースとして利用されている。

河川整備の概要

河道拡幅、築堤、河床掘削：市道（新泉橋）

上流～上流端（L=5.73km）

整備上の留意点

河道整備にあたっては、市街地の潤いあるオープンスペースとして、周辺景観との調和や親水性に配慮する。

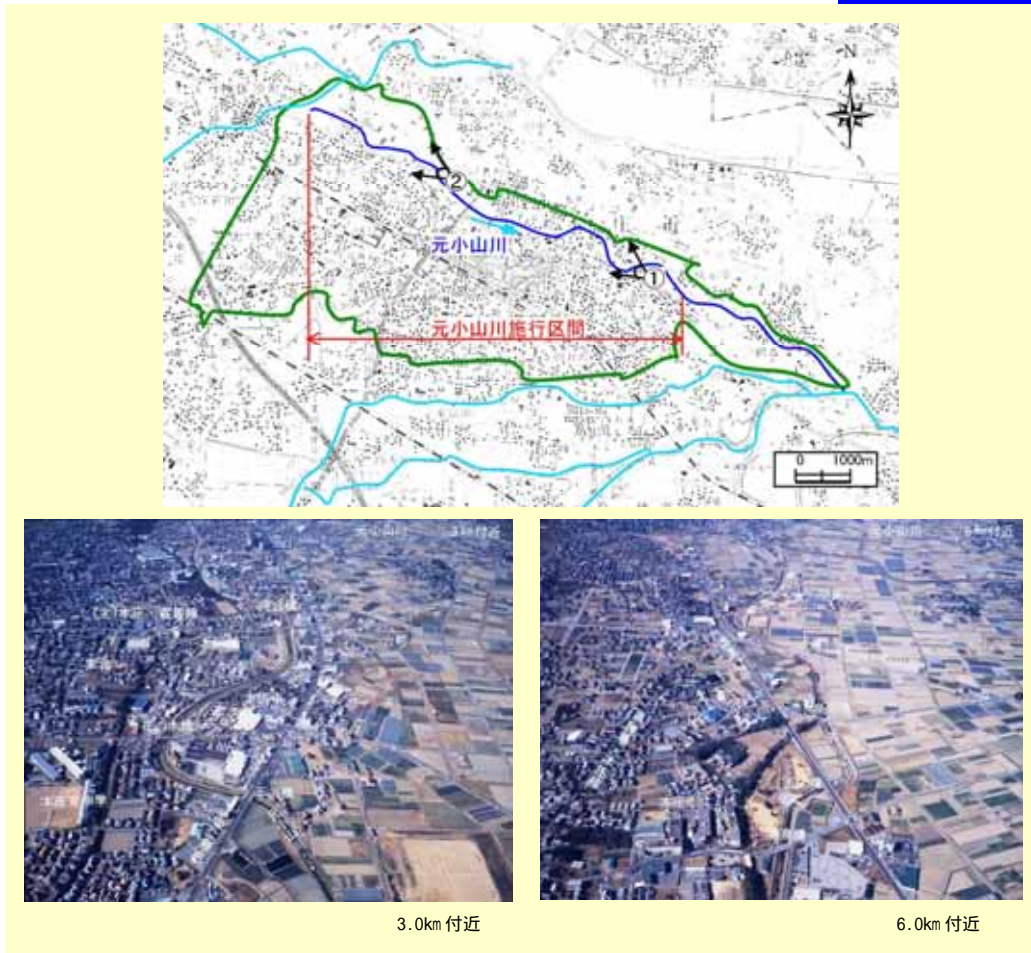
水質の改善については、第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス）を推進し取り組んでいく。

築堤は、現地や周辺の動植物の生息環境に配慮し、極力それを保全するために、覆土に現地表土を利用するなどに努める。

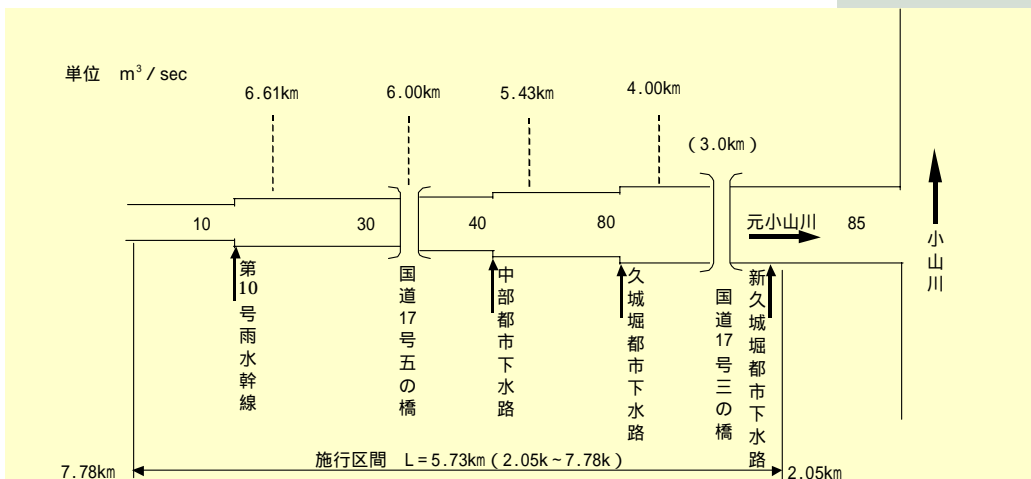
水際は、川の特長、親水性、景観などに配慮して自然素材を利用し、低水路の蛇行、淵の創出などに努め、多様な生物の生息環境確保に努める。

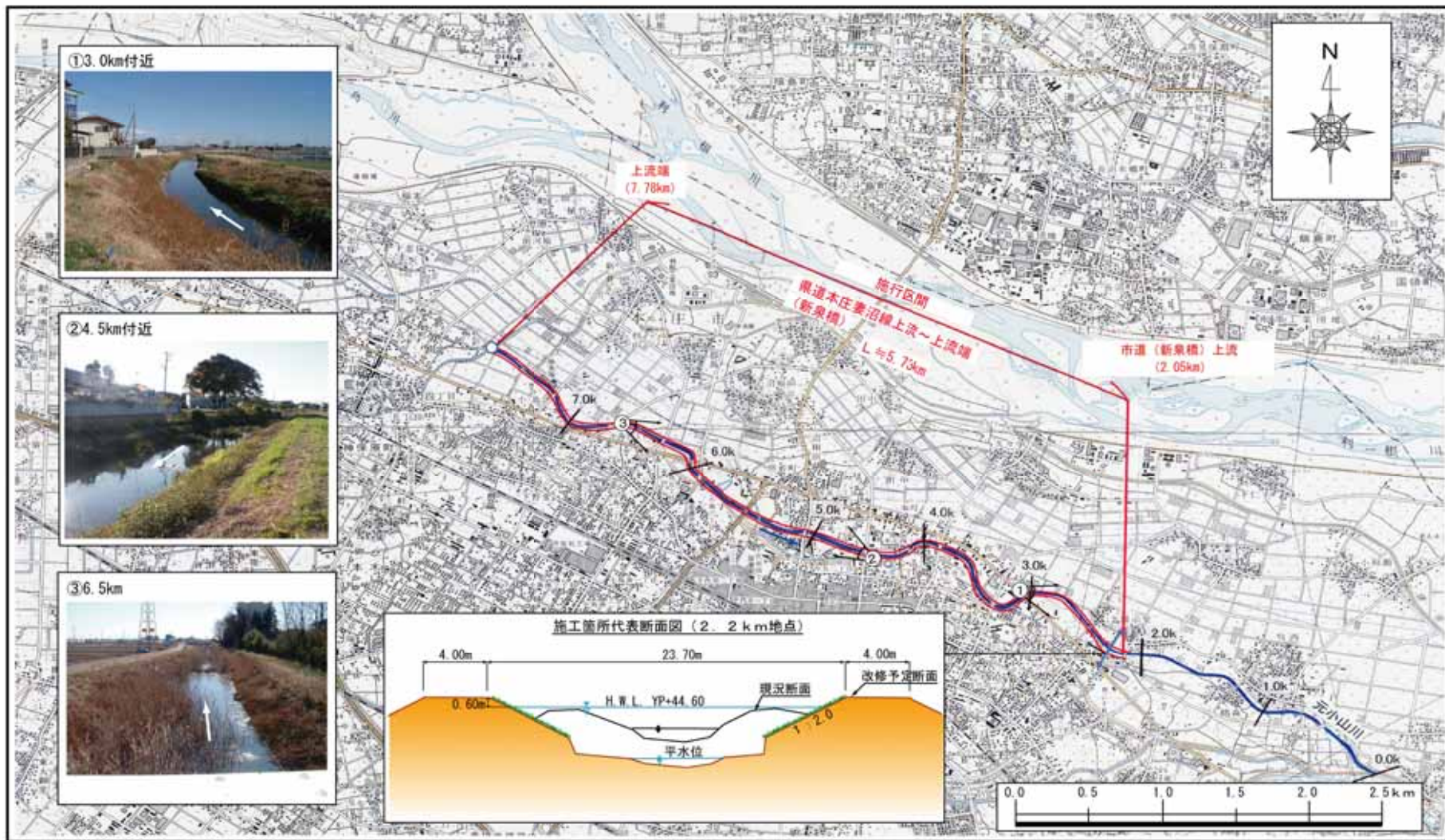
落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。

元小山川流域図

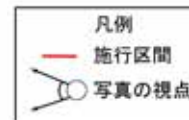


流量配分図

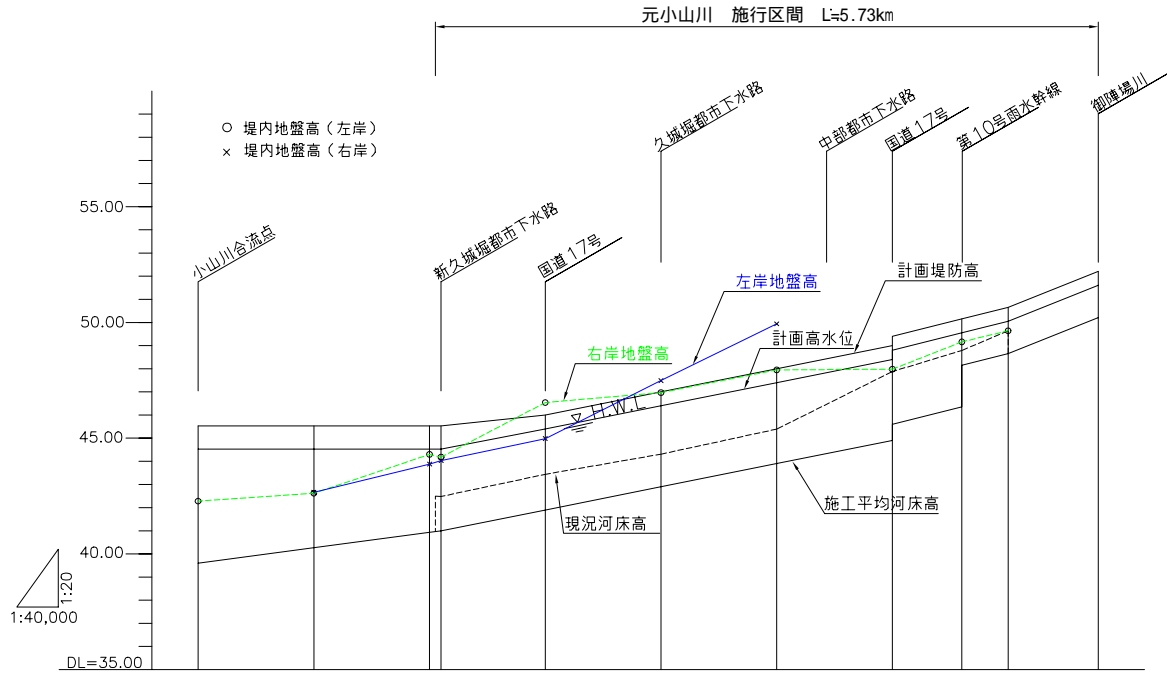




元小山川整備計画平面図 S=1/25,000



元小山川整備計画縦断面図 V=1:20
H=1:40000



計 画	加 高 堤 防 高	河床高	高水位	堤防高	床 配 高	1/1500		1/1000		1/800		1/500	
						距離	高	距離	高	距離	高	距離	高
						0.0k	39.60	44.53	45.53				
						1.0k	40.27	44.53	45.53				
						2.0k	40.93	44.53	45.53				
						2.1k	41.00	44.53	45.53				
						3.0k	41.90	45.40	46.00				
						4.0k	42.90	46.40	47.00				
						5.0k	43.90	47.40	48.00				
						6.0k	44.90	48.40	49.00				
						6.6k	45.60	48.80	49.40				
						6.6k	46.35	49.55	50.15				
						7.0k	48.65	50.05	50.65				
						7.8k	50.21	51.61	52.21				

女堀川

おんなほり

流域面積	36.54km ²
流路延長	14.95km
合流河川	小山川
河床勾配	1/130～1/400
関係市町村	本庄市、児玉町、神川町

流域及び河川の概要

女堀川は、児玉郡児玉町宮内地先を上流端として、JR 八高線、関越自動車道、上越新幹線、JR 高崎線、国道 17 号線を横断し、小山川の左岸に合流している一級河川である。

JR 八高線より上流は河床が急勾配となっている。

流域内の土地利用は、上流域はほとんどが山林であり、中下流域は広大な農地に児玉町や本庄市の市街地が点在している。

河川整備の概要

河道拡幅、築堤、河床掘削：関越自動車道上流～

赤根川橋（L = 6.61 km）

整備上の留意点

河道拡幅にあたっては、河川縦断勾配が急となっていることから、侵食されにくい護岸構造とするが、石、木、植生、現地表土などの自然素材を利用して自然環境の保全に配慮し、周辺環境にも調和した整備に努める。

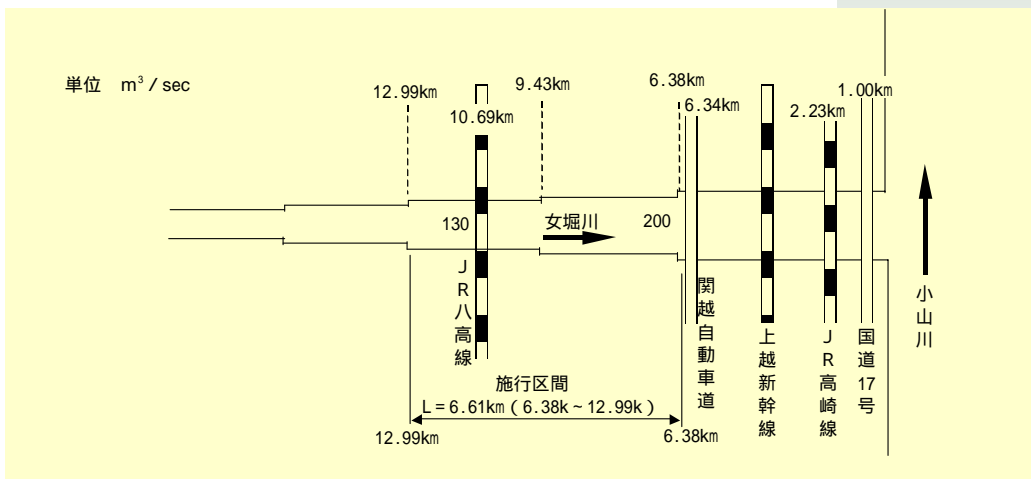
河床掘削においては、低水路の蛇行、淵の復元・創出などに努め、水際には置石や杭などにより多様な生物の生息環境確保に努める。

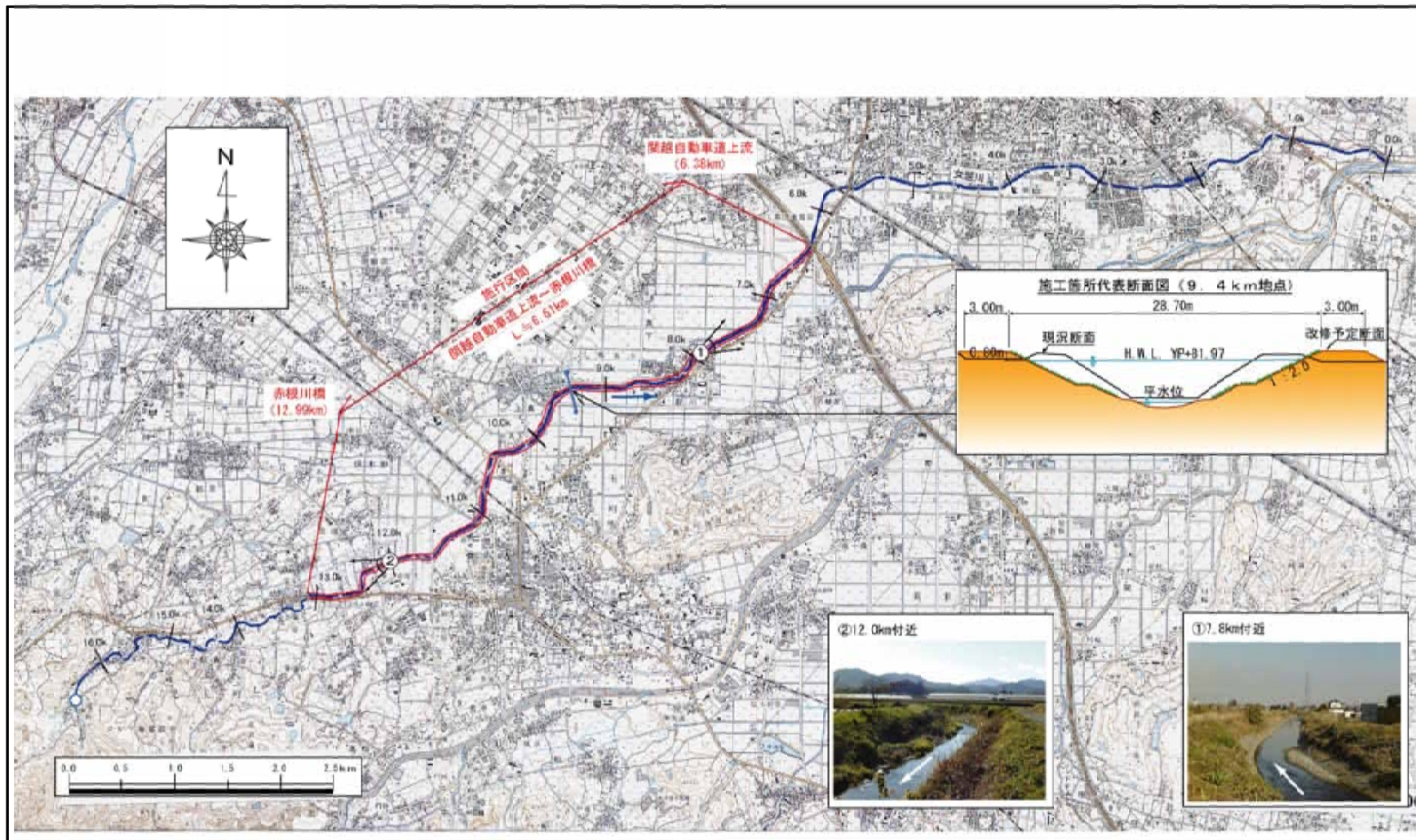
落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。

女堀川流域図

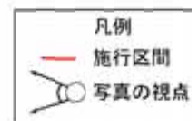


流量配分図





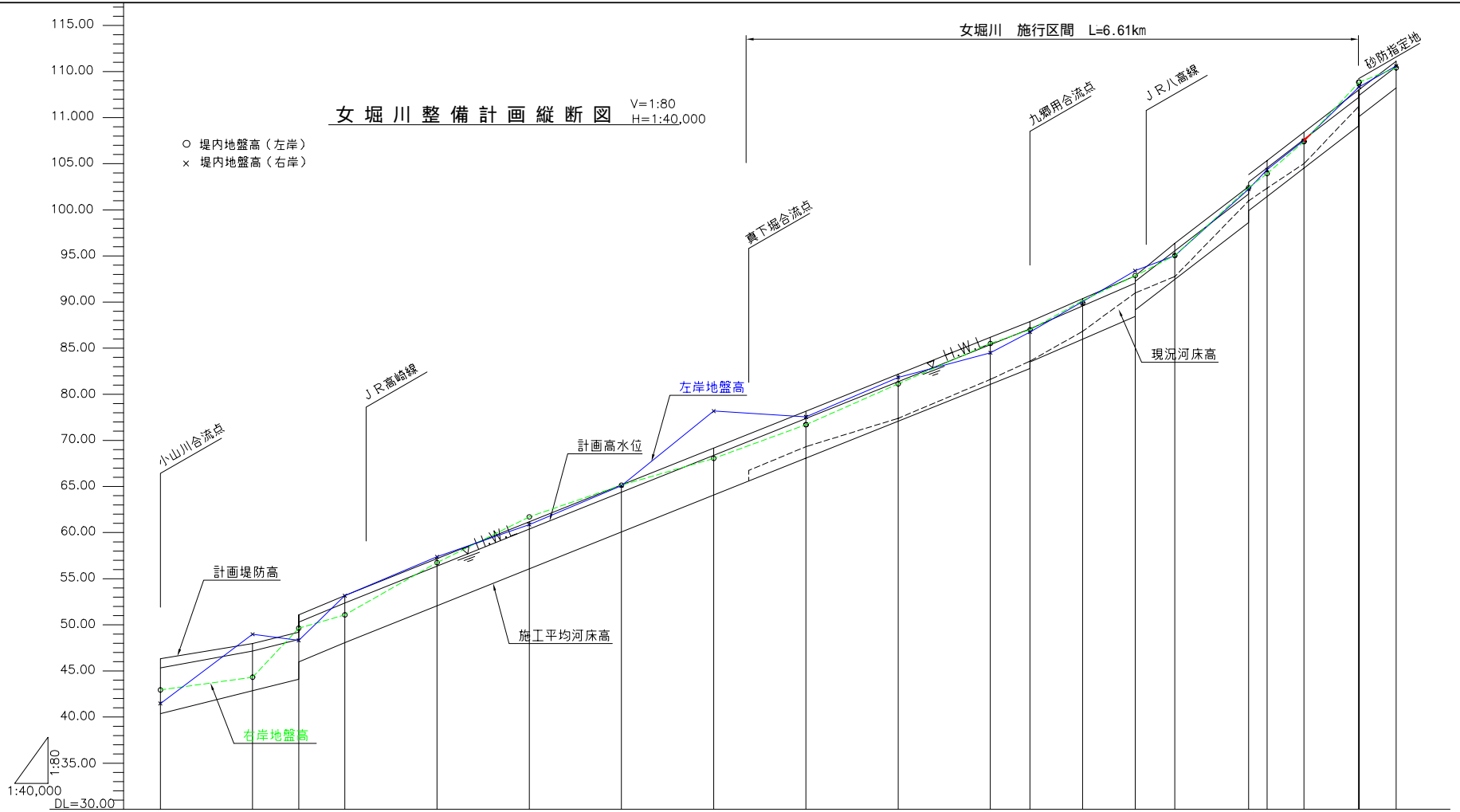
女堀川整備計画平面図 S=1/40,000



女堀川整備計画縦断面図

V=1:80
H=1:40,000

- 堤内地盤高 (左岸)
- × 堤内地盤高 (右岸)



計画	1/400				1/250				1/230				1/130									
	河床高	堤防高	高水位	地盤高	河床高	堤防高	高水位	地盤高	河床高	堤防高	高水位	地盤高	河床高	堤防高	高水位	地盤高						
距離	0	1.0k	1.5k	2.0k	3.0k	4.0k	5.0k	6.0k	7.0k	8.0k	9.0k	9.4k	10.0k	10.6k	11.0k	11.8k	12.0k	12.4k	13.0k	13.4k		
河床高	40.36	42.86	44.11	48.07	52.07	56.07	60.07	64.07	68.07	72.07	76.07	77.79	80.97	83.45	87.46	93.62	96.45	99.53	104.09	105.09	108.22	
堤防高	46.33	47.96	49.21	53.17	57.17	61.17	65.17	69.17	73.17	77.17	81.17	82.89	85.37	87.85	91.36	96.72	98.52	102.63	107.19	107.99	111.12	
高水位	45.33	47.16	48.41	52.37	56.37	60.37	64.37	68.37	72.37	76.37	80.37	82.09	84.57	87.05	90.56	96.72	99.55	102.63	107.19	107.99	110.52	
地盤高	43.00	44.00	45.98	48.00	50.00	52.00	54.00	56.00	58.00	60.00	62.00	64.00	66.00	68.00	70.00	72.00	74.00	76.00	78.00	80.00	82.00	84.00

志戸川

し
ど

流域面積	49.7km ²
流路延長	9.34km
合流河川	小山川
河床勾配	1/150 ~ 1/500
関係市町村	美里町、岡部町、児玉町

流域及び河川の概要

志戸川は、児玉郡美里町大字広木地先を上流端として、国道 254 号線、JR 八高線、関越自動車道、上越新幹線、JR 高崎線を横断し、小山川の右岸に合流している一級河川である。

JR 八高線より上流は河床が急勾配となっている。

流域内の土地利用は、大部分が農地と農村集落地となっている。

河川整備の概要

河道拡幅、築堤、河床掘削：榛沢新田地先～

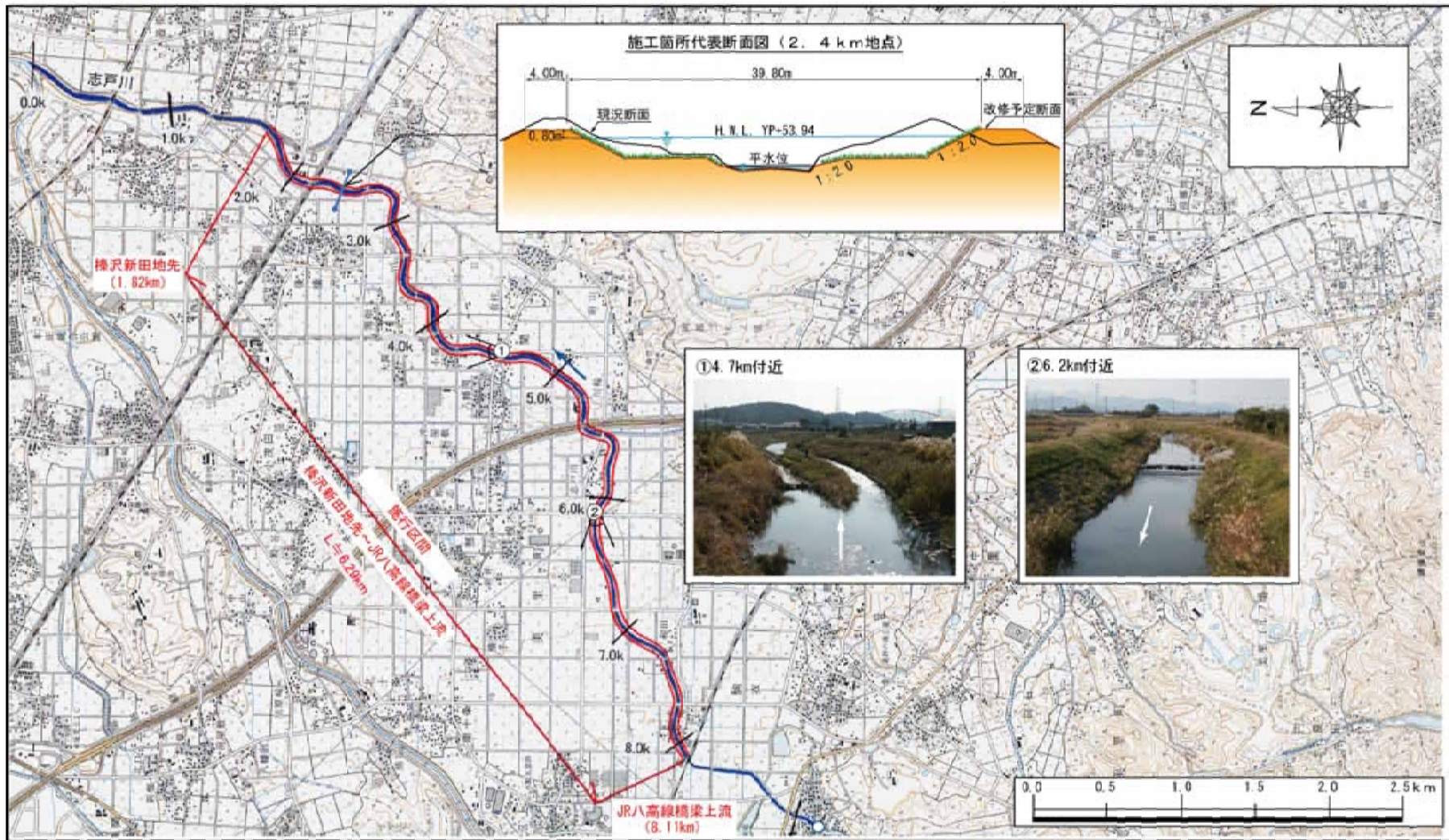
JR 八高線橋梁上流(L = 6.29 k m)

整備上の留意点

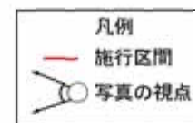
河道拡幅にあたっては、河川縦断勾配が比較的急なことから、侵食されにくい護岸構造とするが、植生、石、木、現地表土などの自然素材を利用して自然環境の保全に配慮し、周辺環境との調和に努める。

水際は、極力現況の水際を生かす配慮や、川の特性を踏まえ、蛇行、淵の創出などに努め、多様な生物の生息環境確保に努める。

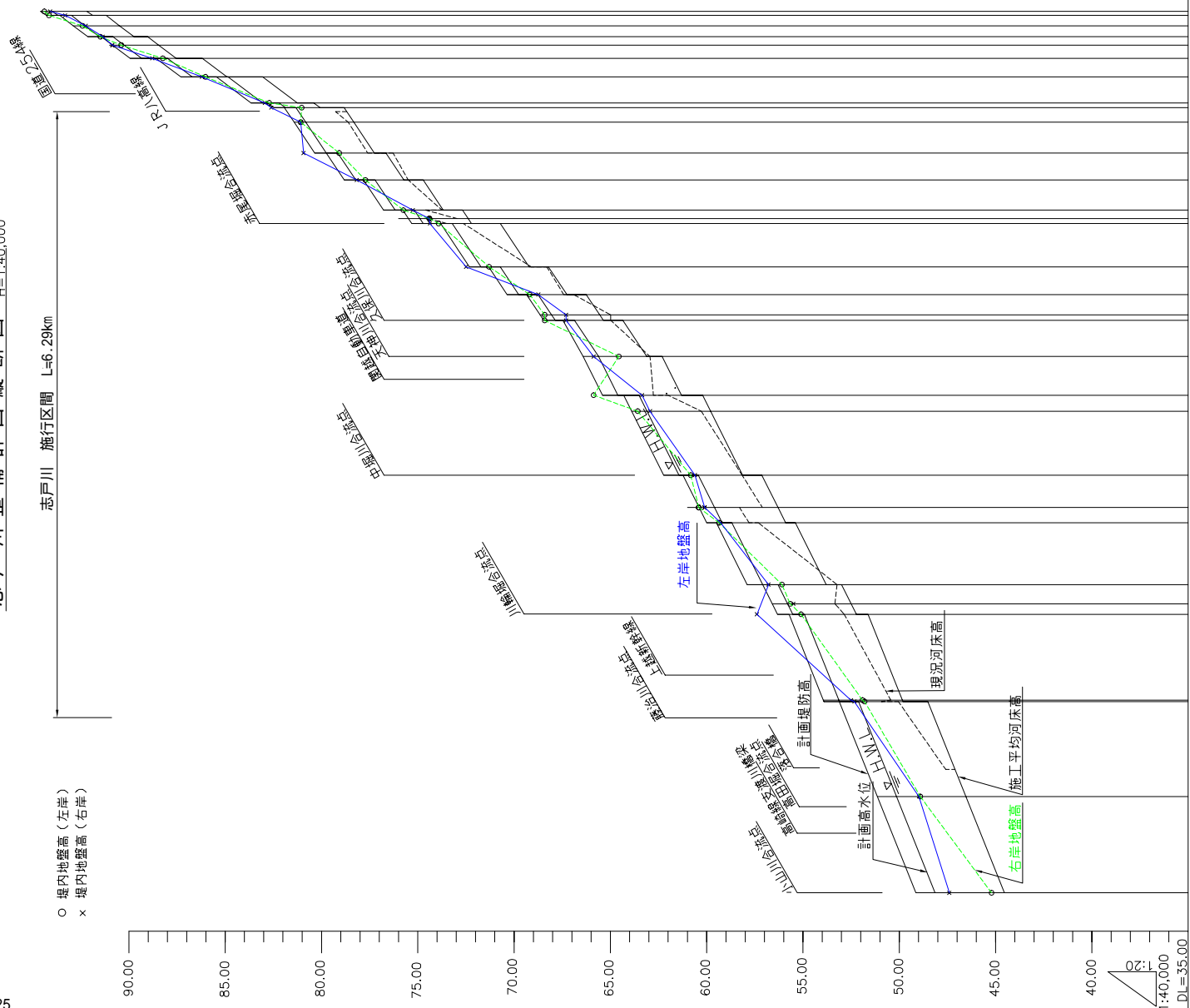
落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。



志戸川整備計画平面図 S=1/25,000



志戸川整備計画縦断面図 V=1:20 H=1:40,000



○ 堤内地盛高 (左岸)
 × 堤内地盛高 (右岸)

距離 (km)	河床高 (m)	堤内高 (m)	堤外高 (m)
0	44.54	48.14	49.14
1.0	46.54	50.14	51.14
2.0	48.81	53.11	53.11
2.9	51.62	54.92	55.72
3.0	52.22	55.52	56.32
3.2	53.98	57.09	57.89
3.8	55.90	59.20	60.00
4.0	56.29	59.59	60.39
4.4	57.13	60.43	61.23
5.0	59.79	63.09	63.89
5.2	60.21	63.51	64.31
5.6	63.11	65.61	66.41
6.2	67.26	68.76	69.36
6.5	68.22	70.72	71.32
6.9	70.72	73.22	73.82
7.1	72.68	75.18	75.78
7.4	75.22	77.22	77.82
7.7	76.65	79.15	79.75
8.0	78.02	80.82	81.42
8.2	78.82	81.92	82.42
8.3	79.20	82.20	82.60
8.4	79.19	82.19	82.59
8.5	79.19	82.19	82.59
8.6	79.19	82.19	82.59
8.7	79.19	82.19	82.59
8.8	79.19	82.19	82.59
8.9	79.19	82.19	82.59
9.0	79.19	82.19	82.59
9.1	79.19	82.19	82.59
9.2	79.19	82.19	82.59
9.3	79.19	82.19	82.59
9.4	79.19	82.19	82.59
9.5	79.19	82.19	82.59
9.6	79.19	82.19	82.59
9.7	79.19	82.19	82.59
9.8	79.19	82.19	82.59
9.9	79.19	82.19	82.59
10.0	79.19	82.19	82.59

藤治川

とうじ

流域面積	12.54km ²
流路延長	5.75km
合流河川	志戸川
河床勾配	1/250
関係市町村	岡部町

流域及び河川の概要

藤治川は、大里郡寄居町に源を発する西藤治川及び東藤治川からの水を集め、大里郡岡部町大字本郷地先を上流端とし、上越新幹線、関越自動車道を横断し、志戸川の右岸に合流している一級河川である。

櫛引台地を流下しており、比較的急峻な河床勾配となっている。

流域内の土地利用は、ほとんどが農地と農村集落地となっている。

河川整備の概要

河道拡幅、築堤、河床掘削：志戸川合流点～上流端（L = 5.75 km）

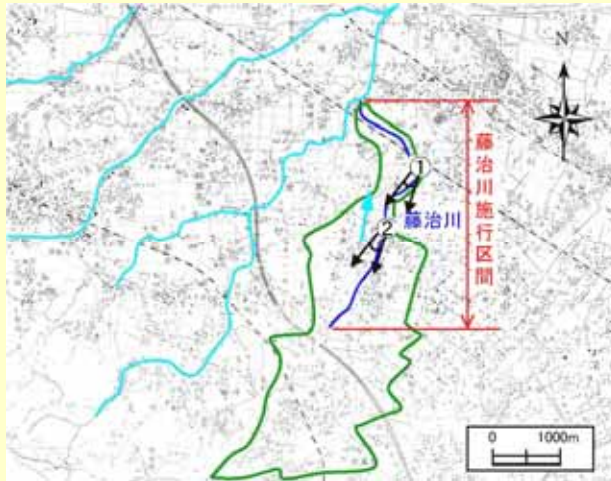
整備上の留意点

河道拡幅にあたっては、河川縦断勾配が比較的急なことから、侵食されにくい護岸構造とするが、極力植生、石、木、現地表土などの自然素材を利用して自然環境の保全に配慮し、周辺環境にも調和した整備に努める。

河床掘削においては、低水路の蛇行、淵の復元・創出などに努め、水際には置石や杭などにより多様な生物の生息環境確保に努める。

落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。

藤治川流域図

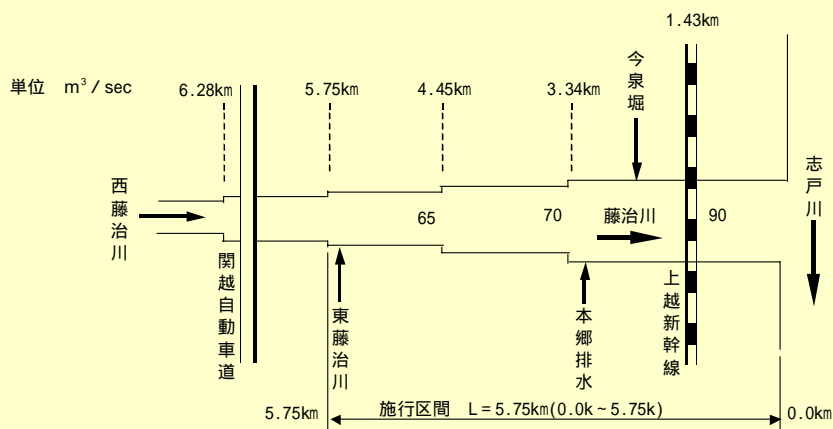


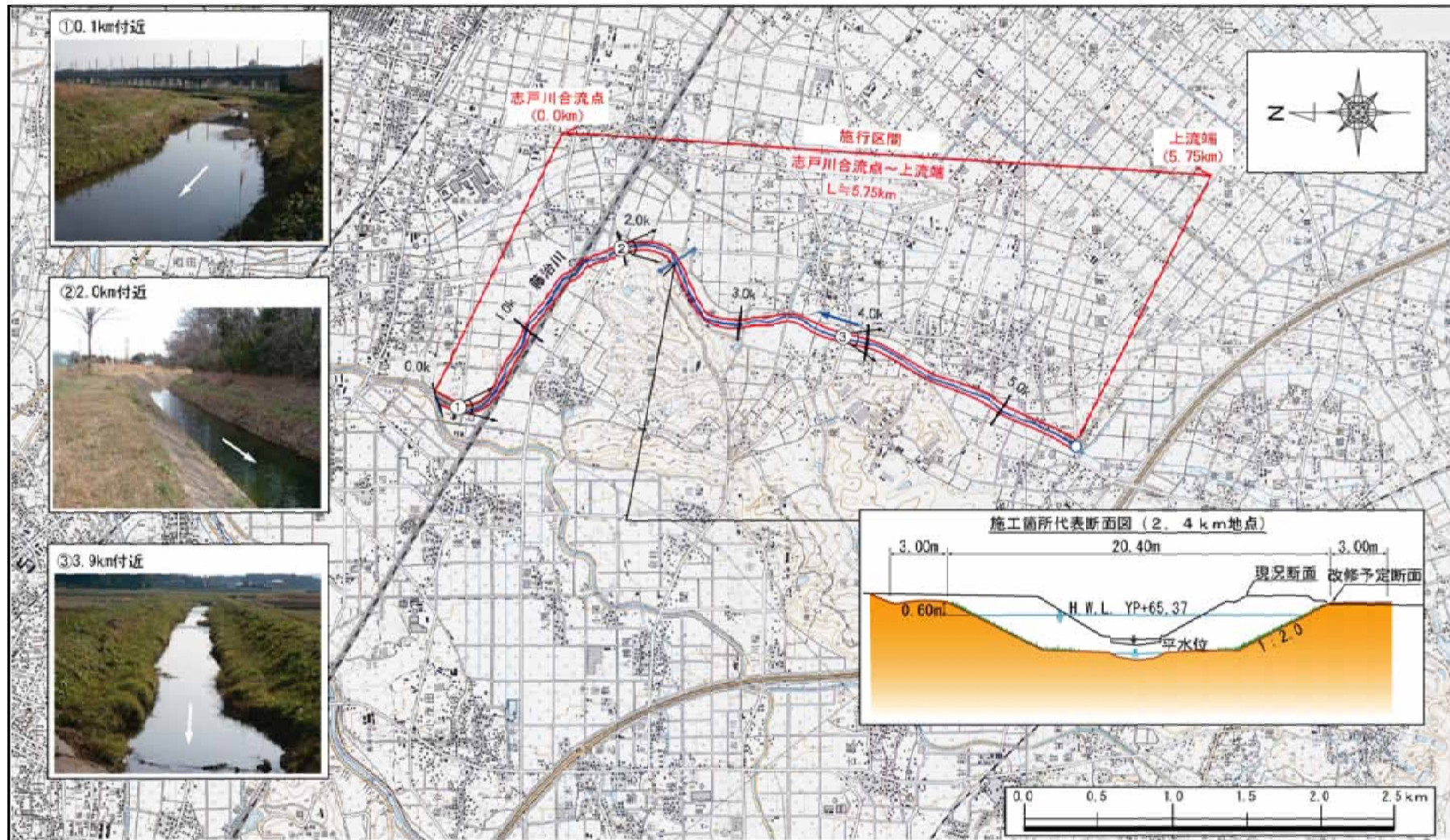
2.0km 付近



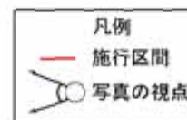
4.0km 付近

流量配分図





藤治川整備計画平面図 S=1/25,000

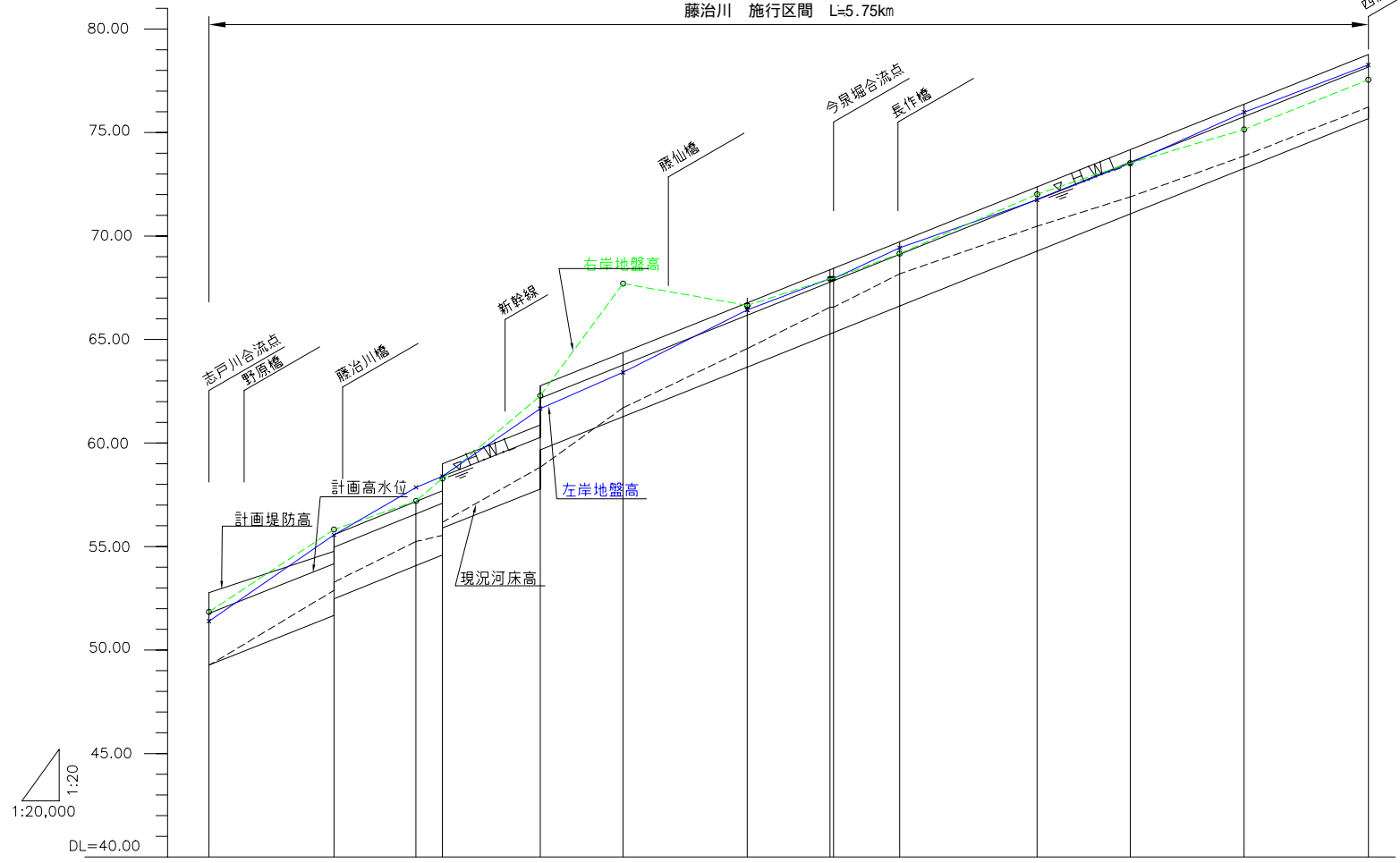


藤治川整備計画縦断面図 $V=1:20$ $H=1:20,000$

○ 堤内地盤高 (左岸)
× 堤内地盤高 (右岸)

藤治川 施行区間 L=5.75km

東藤治川合流点
西藤治川合流点



1:20
1:20,000
DL=40.00

距離	計画			
	河床高	高水位	堤防高	床高
0	49.27	51.77	52.77	
0.6k	51.67	54.17	54.77	
1.0k	54.07	56.57	57.17	
1.1k	54.99	57.09	57.69	
1.6k	55.69	58.39	58.99	
1.6k	57.77	60.27	60.87	
1.6k	59.67	62.17	62.77	
2.0k	61.27	63.77	64.37	
2.6k	63.67	66.17	66.77	
3.0k	65.27	67.77	68.37	
3.0k	65.54	67.84	68.44	
3.3k	66.61	69.11	69.71	
4.0k	69.27	71.70	72.37	
4.4k	71.07	73.57	74.17	
5.0k	73.27	75.77	76.37	
5.8k	81.57	80.57	79.57	

天神川

てんじん

流域面積	14.44km ²
流路延長	6.848km
合流河川	小山川
河床勾配	1/65～1/300
関係市町村	美里町、岡部町、寄居町

流域及び河川の概要

天神川は、児玉郡美里町、児玉郡児玉町、秩父郡皆野町の境界である陣見山付近に源を發し、児玉郡美里町大字白石地先を上流端とし、JR 八高線を横断し、志戸川の右岸に合流している一級河川である。

ブロック内の他の河川と比べても河床が急勾配となっている。

流域内の土地利用は、農地と山林が中心となっている。また、ゴルフ場等の大規模施設も整備されている。

河川整備の概要

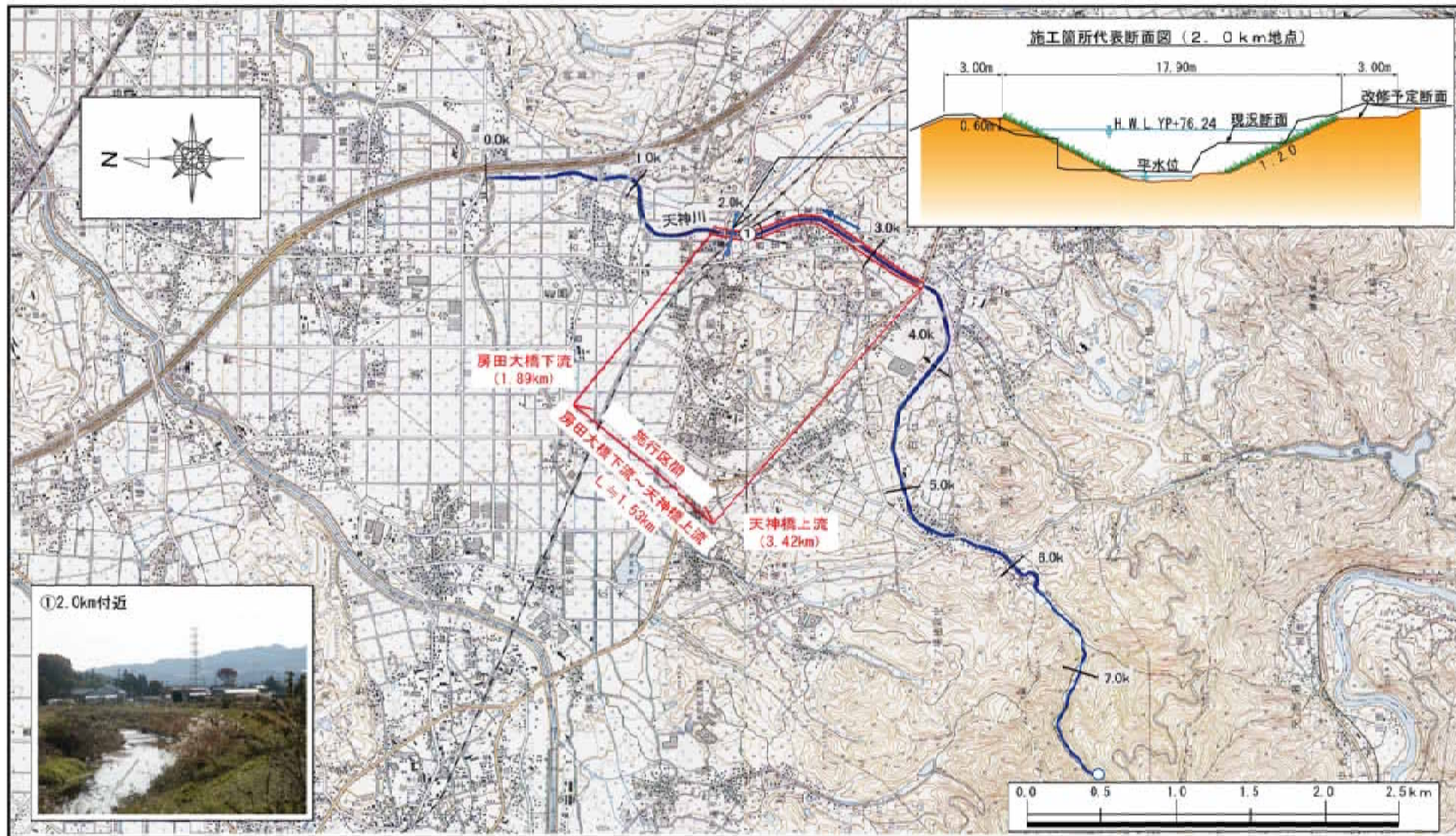
河道拡幅、築堤、河床掘削：房田大橋下流～天神橋上流（L = 1.53 km）

整備上の留意点

河道拡幅にあたっては、河川縦断勾配が急なことから、侵食されにくい護岸構造とするが、石、木、植生、現地表土などの自然素材を利用して自然環境の保全に配慮し、周辺環境との調和に努める。

河床掘削においては、低水路の蛇行、淵の復元・創出などに努め、水際には置石や杭などにより多様な生物の生息環境確保に努める。

落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。



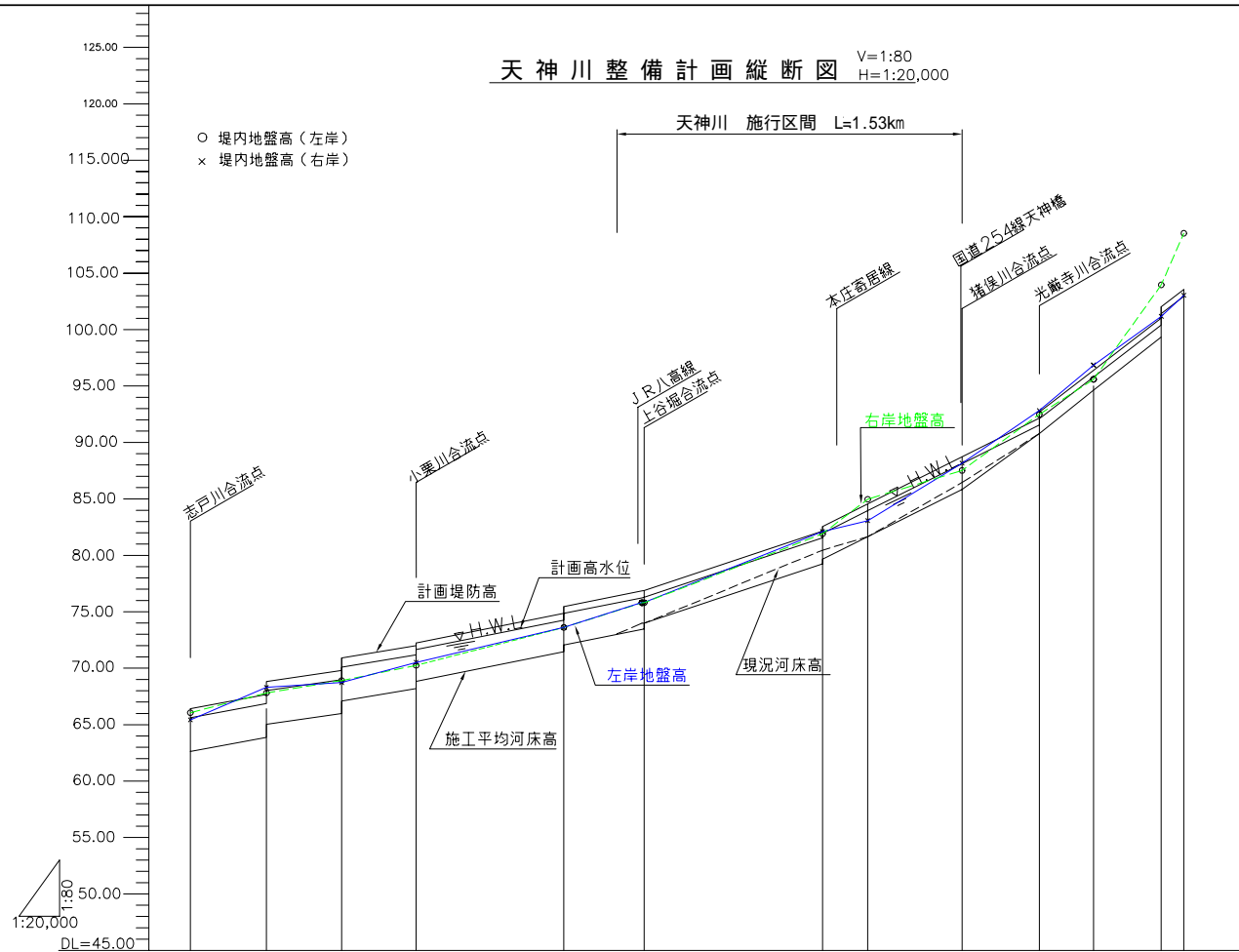
天神川整備計画平面図 S=1/25,000

凡例

- 施行区間
- 📷 写真の視点

天神川整備計画縦断面図

V=1:80
H=1:20,000



距離 (km)	計画			
	河床高	高水位	堤防高	河配
0	62.61	65.61	66.41	1/300
0.4k	63.87	66.87	67.67	
0.7k	66.00	69.00	69.80	1/250
1.0k	68.20	71.20	72.00	
1.7k	71.46	74.26	74.86	1/150
2.0k	73.44	76.24	76.84	
2.0k	73.48	76.28	76.88	1/100
2.8k	79.25	81.55	82.15	
3.0k	81.65	83.95	84.55	1/65
3.4k	85.65	87.95	88.55	
3.8k	90.78	91.55	92.15	1/65
4.0k	94.62	95.79	96.39	
4.3k	99.24	100.41	101.01	1/65
4.4k	101.77	102.95	103.55	

男堀川

おとしほり

流域面積	3.92km ²
流路延長	5.55km
合流河川	小山川
河床勾配	1/230～1/250
関係市町村	本庄市、児玉町

流域及び河川の概要

男堀川は、もともと農業用の排水路として開削された河川で、児玉郡児玉町高関地先の女堀川からの分派点を上流端として、関越自動車道、上越新幹線を横断し、小山川の左岸に合流している一級河川である。

流域内の土地利用は水田・畑がその多くを占め、市街地は2割弱程度であるが、中流域においては、本庄地方拠点都市地域における拠点地区の整備が進められており、それに伴う宅地等の進展が見込まれる地域である。

河川整備の概要

中流部では、本庄早稲田駅が平成16年に開業するなど、今後、宅地開発等の進展が見込まれることから、洪水を安全に流下させるため、下記区間において、河道の拡幅、築堤、河床掘削を行う。

- ・ 河道拡幅、築堤、河床掘削：小山川合流点～上流端（L=4.50km）
（本庄公園内は一部整備済み）

整備上の留意点

河道整備にあたっては、本庄早稲田駅周辺まちづくりや、公園整備と連携して良好な河川環境の創出に努める。

河道拡幅にあたっては、河川縦断勾配が比較的急なことから、侵食されにくい護岸構造とするが、植生、石、木、現地表土などの自然素材を利用して自然環境の保全に配慮し、周辺環境との調和に努める。

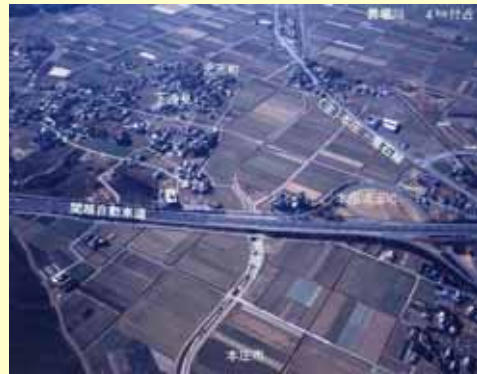
水際は、極力現況の水際を生かす配慮や、川の特性を踏まえ、蛇行、淵の創出などに努め、多様な生物の生息環境確保に努める。

落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。

男堀川流域図

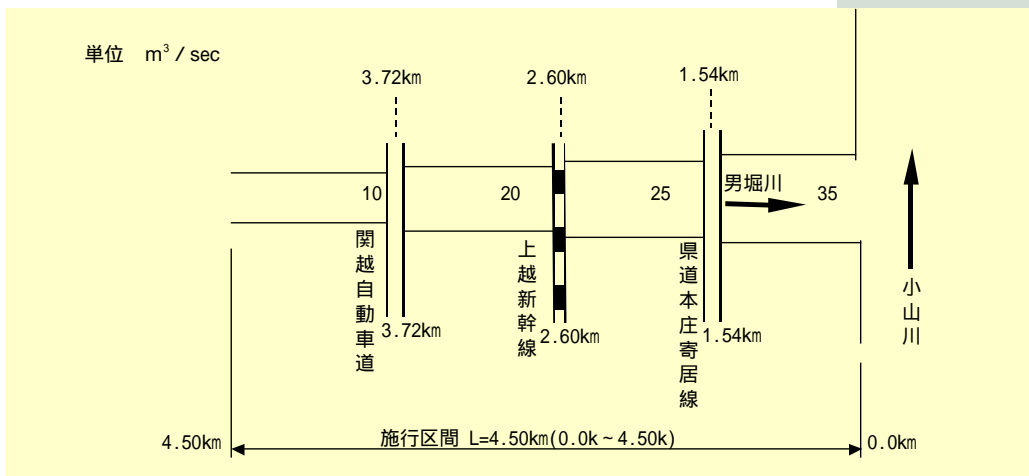


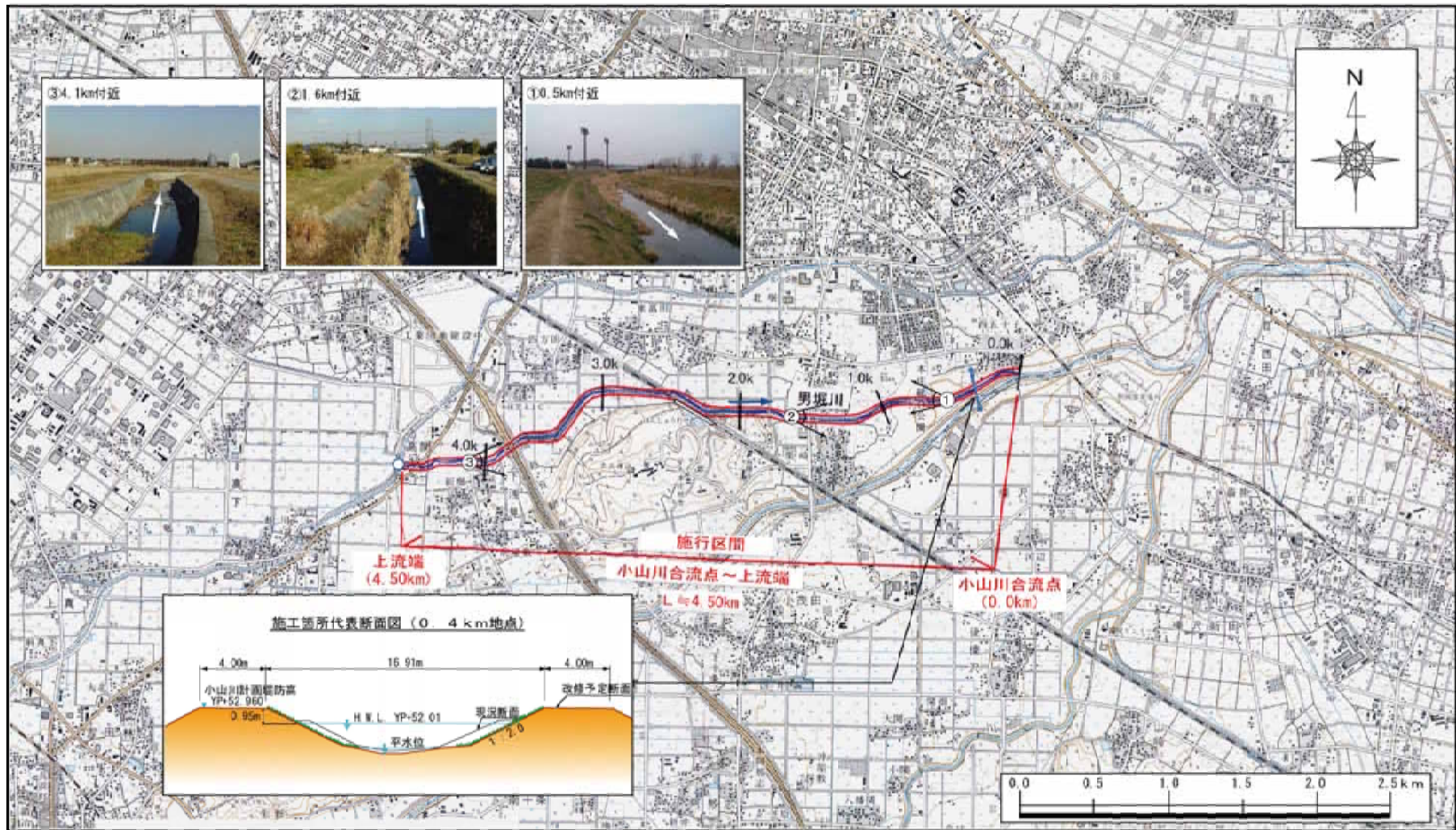
0.0km 付近



4.0km 付近

流量配分図

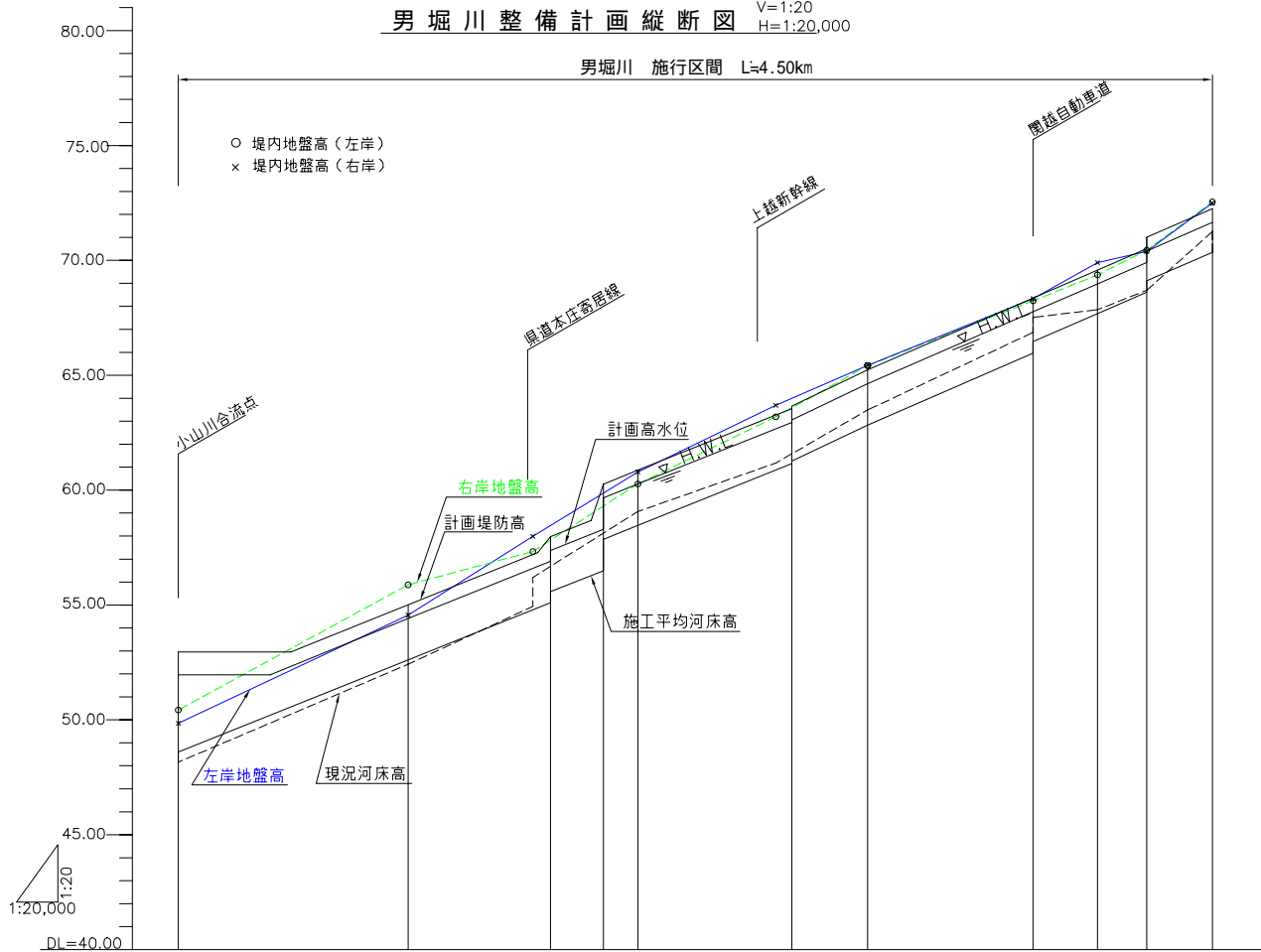




男堀川整備計画平面図 S=1/25,000

- 凡例
- 施行区間
 - 👁 写真の視点

男堀川 整備計画縦断面図 V=1:20
H=1:20,000



里程 (km)	1/250		1/230	
	左岸地盤高	右岸地盤高	河床高	堤防高
0	48.61	51.96	48.61	52.96
1.0k	52.61	54.41		55.01
1.62k	55.10	56.90	55.58	57.98
1.85k	56.49	58.29	57.86	60.26
2.0k	58.47	60.27	60.27	60.87
2.67k	61.15	62.95	61.26	63.66
(3.0k)	62.83	64.63		65.23
(3.7k)	65.96	67.76	66.46	68.36
(4.0k)	67.68	68.98		69.58
(4.2k)	68.61	69.91	69.11	70.51
(4.5k)	70.35	71.65	70.35	72.25

河床高計画測点

御陣場川

い
じ
ん
ば

流域面積	24.3km ²
流路延長	9.40km
合流河川	利根川
河床勾配	1/250 ~ 1/600
関係市町村	本庄市、神川町、上里町

流域及び河川の概要

御陣場川は、児玉郡上里町大字藤木地先を上流端として、上越新幹線、関越自動車道、JR高崎線、国道17号線を横断し、途中忍保川が左岸から合流し、利根川の右岸に合流している一級河川である。神流川から取水された農業用水が阿保領用水路を流下し、御陣場川に流れ込んでいる。

流域内の土地利用は、上流部は、ほ場整備が実施され、広大な農業地帯となっており、中流域では上里町で本庄拠点都市地域として、神保原駅南土地区画整理事業が行われている。

河川整備の概要

JR高崎線橋梁によって、洪水の流下が著しく阻害されているため、鉄道橋上流域では、越水等により度々浸水被害が発生している。このため、JR高崎線橋梁を改築するとともに、洪水を安全に流下させるため、下記区間において、河道の拡幅、築堤、河床掘削を行う。

- ・ 河道拡幅、築堤、河床掘削、JR橋梁架換
 - ：利根川合流点～忍保川合流点上流（L=2.58km）
 - ：柿木橋下流～上流端（L=4.07km）

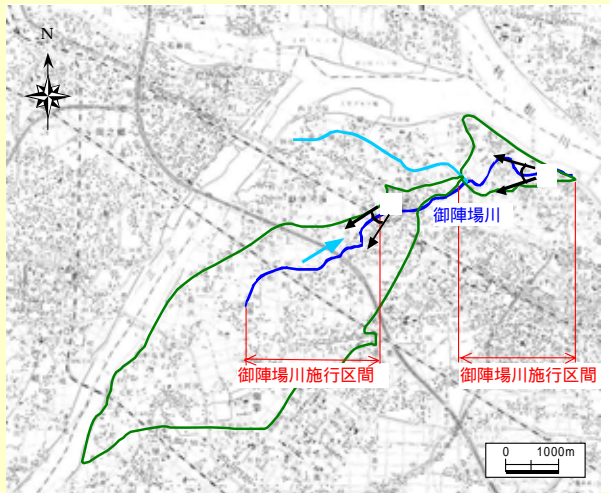
整備上の留意点

0～2.58km区間の河道拡幅にあたっては、現地や周辺の動植物の生息環境に配慮し、極力それを保全するために、覆土に現地表土を利用するなどに努める。

水際は、極力現況の水際を生かす配慮や、川の特性を踏まえ、蛇行、淵の創出などに努め、多様な生物の生息環境確保に努める。

落差工の設置にあたっては、魚類等の移動を妨げない構造となるように努める。

御陣場川流域図

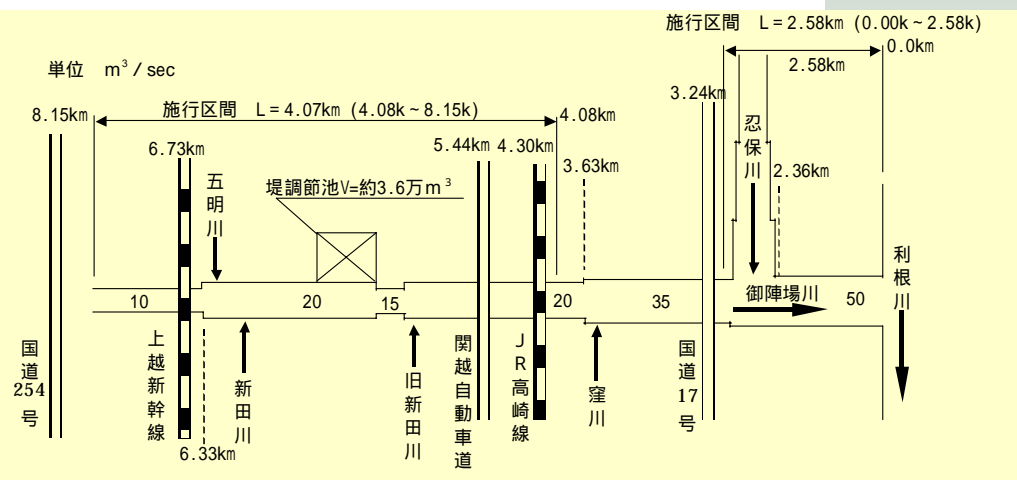


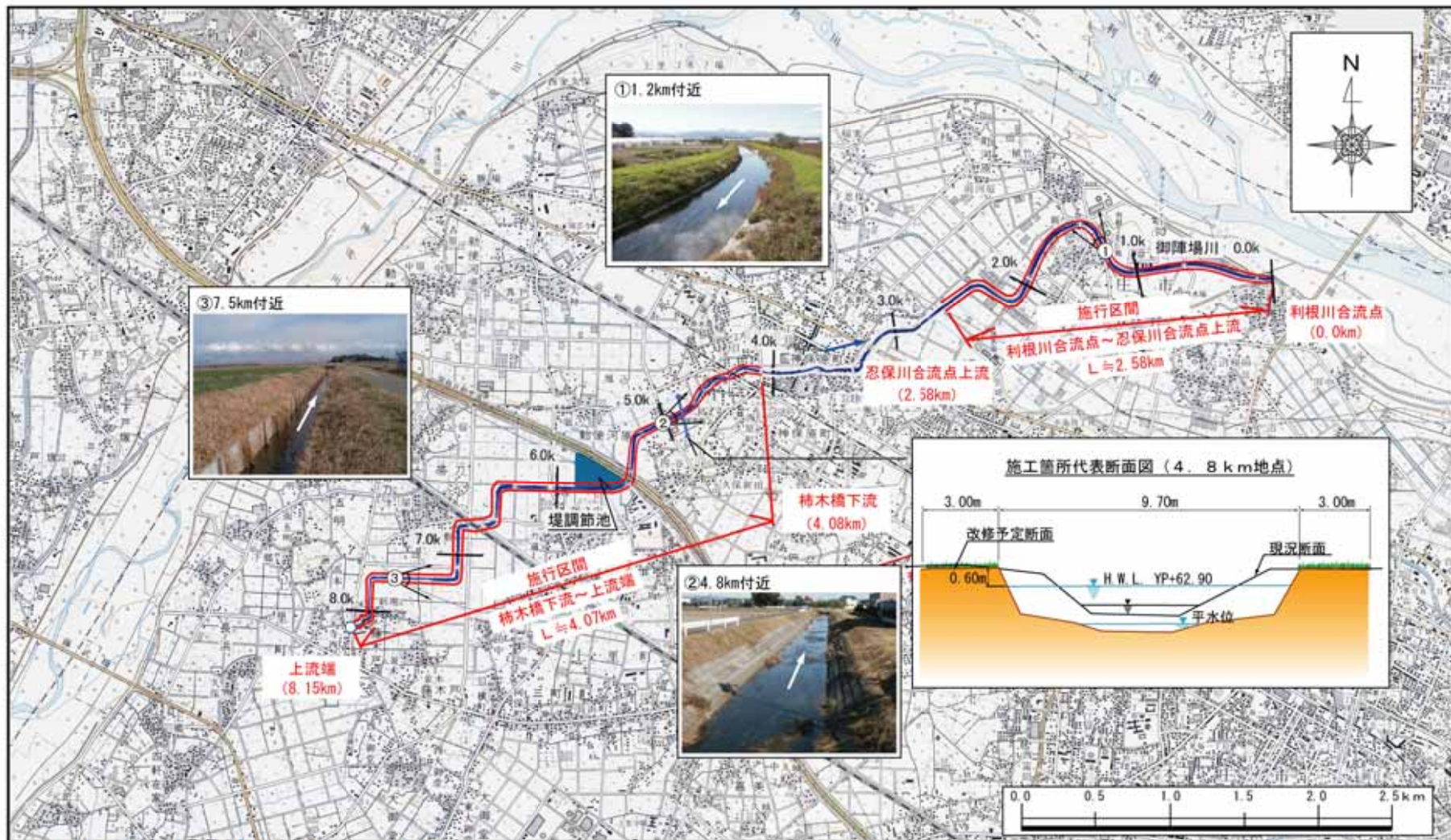
1.0km 付近



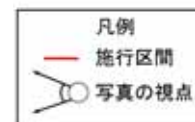
4.0km 付近

流量配分図

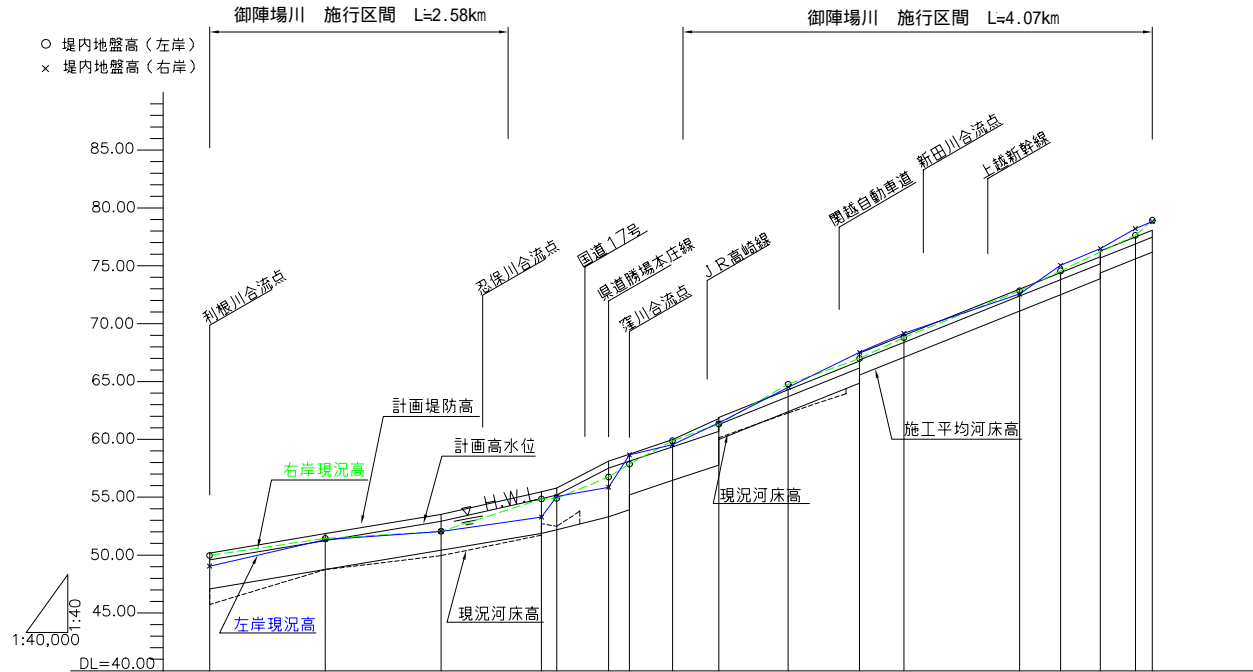




御陣場川整備計画平面図 S=1/25,000



御陣場川整備計画縦断図 V=1:40
H=1:40,000



配	1/600		1/400		1/300		1/250													
堤防高	50.19	51.85	53.52	55.47	55.80	58.12	58.72	59.96	61.79	61.89	64.29	66.76	67.46	68.99	72.99	74.41	75.78	76.28	77.49	78.29
高水位	49.59	51.25	52.92	54.87	55.20	57.52	58.12	59.36	60.69	61.29	63.69	66.16	66.86	68.39	72.39	73.81	75.18	75.68	76.89	77.49
河床高	47.09	48.75	50.42	51.87	52.20	54.52	55.12	56.46	57.79	58.39	60.79	63.26	63.96	65.49	69.49	70.91	72.28	72.78	74.09	74.69
距離	0	1.04	2.04	2.94	3.04	3.44	3.64	4.04	4.44	5.04	5.64	6.04	7.04	7.44	7.74	8.04	8.22			